

資料2 ごみ発生量の見込み

1 推計の手順

推計手順は図 2-1 に示すとおりです。

推計内容として、人口、生活系ごみ量原単位（1人1日平均排出量）、事業系ごみ量（1日平均排出量）について行い、推計は基本的に時系列分析*により行います。

生活系ごみ量は、生活系ごみ量原単位の推計値に将来人口を乗じて求めます。

生活系ごみ量と事業系ごみ量との和を津島市内におけるごみの総排出量とし、現況のまま推移した場合のごみ量（現況推移ケース）を予測します。

さらに、発生抑制、資源化の目標を設定し、これに基づいてごみ量の削減を達成した場合の推計（目標達成ケース）を予測します。

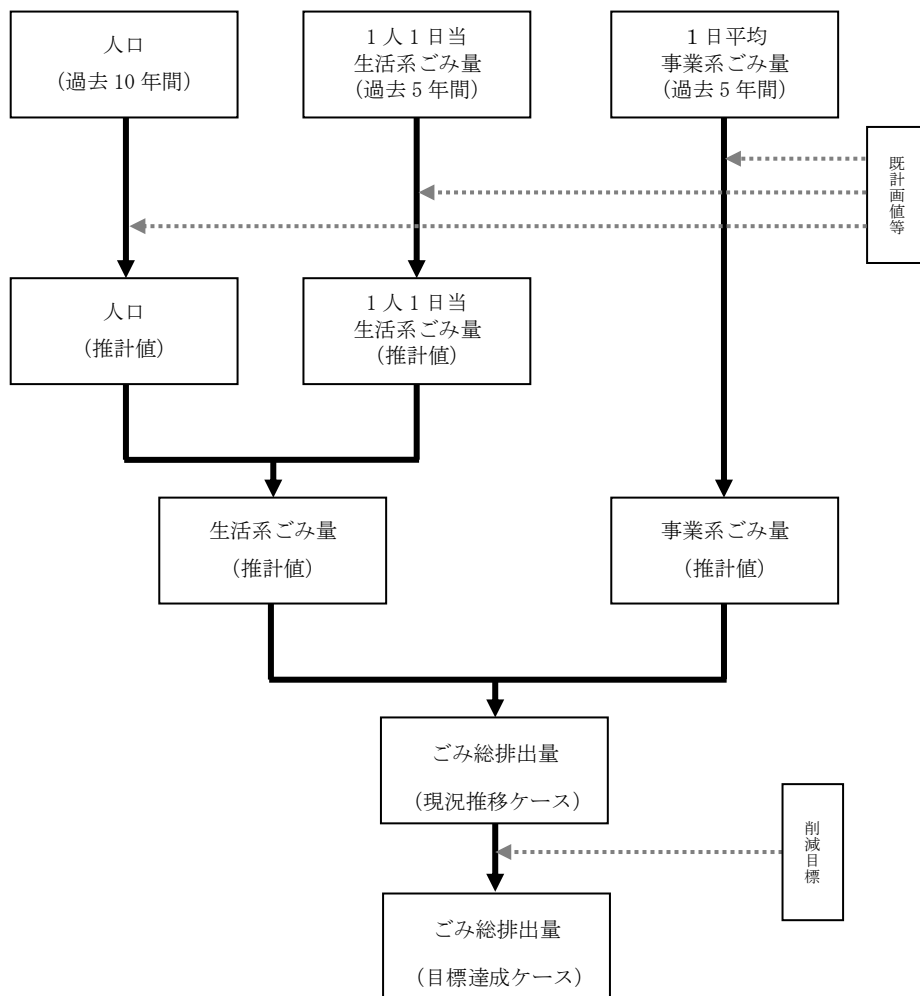


図 2-1 推計手順フロー

※：時系列分析

時系列分析とは、時間の経過に従って変化する現象を、それが一定の規則性を持つ傾向線として近似的に一次関数、指数関数等によってモデル化し、これを延長することにより、将来の一定期間内における変化の状態を数量的に把握する予測手法であり、推計式に最もよく用いられています。

ここでは、以下に示す5つの線形により、時系列分析を行うこととします。

(ただし、人口については、総合計画等の将来目標値を参考に推計します。)

推計に用いる傾向線

推計式	数式	特徴
一次傾向式	$Y=a+bX$	単調な増加（減少）を示す直線式
二次傾向式	$Y=a+bX+cX^2$	増減を大きく示す曲線式
一次指数曲線	$Y=ab^X$	年次とともに緩やかに増加（減少）していく曲線式
べき曲線	$Y=aX^b$	年次とともに増加率（減少率）が増大していく曲線式
ロジスティック曲線	$Y=k/(1+a \exp(-bX))$	最初は増加（減少）し、途中でその増加率（減少率）が最大になった後、無限年後に飽和に達する曲線式

備考) Y:計画年次における数値

X:年度数

a,b,c:定数

K:飽和数値

2 現況推移ケース

(1) 人口の推計

津島市における過去 10 年間の人口を表 2-1 に示します。

表 2-1 人口の実績

区分	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
人口	66,601	66,637	66,586	66,600	66,541	66,699	66,970	66,686	66,448	66,137
前年度比増減	-	36	-51	14	-59	158	271	-284	-238	-311

出典：津島市 人口情報の履歴（各年 10 月 1 日現在）

過去 10 年の人口実績を基に、将来人口を予測すると図 2-2 及び表 2-2 のようになります。

実績をみると、平成 21 年度から減少傾向が続いているものの、平成 23 年度までの 10 年間で見ると、464 人の減少にとどまっています。

総合計画及び人口問題研究所の人口は、出典としていた人口が異なる（国勢調査の人口実績である）ため数値に開きが出ていますが、時系列分析結果と類似した数値を示しており、平成 32 年度までは、上位計画である総合計画の傾きを使用し推計を行うこととします。

また、平成 33 年度以降も、減少傾向が続くことが予想されるものの、政策等による人口減少の抑制も考慮し、総合計画の傾き（直線）がそのまま維持されることとします。

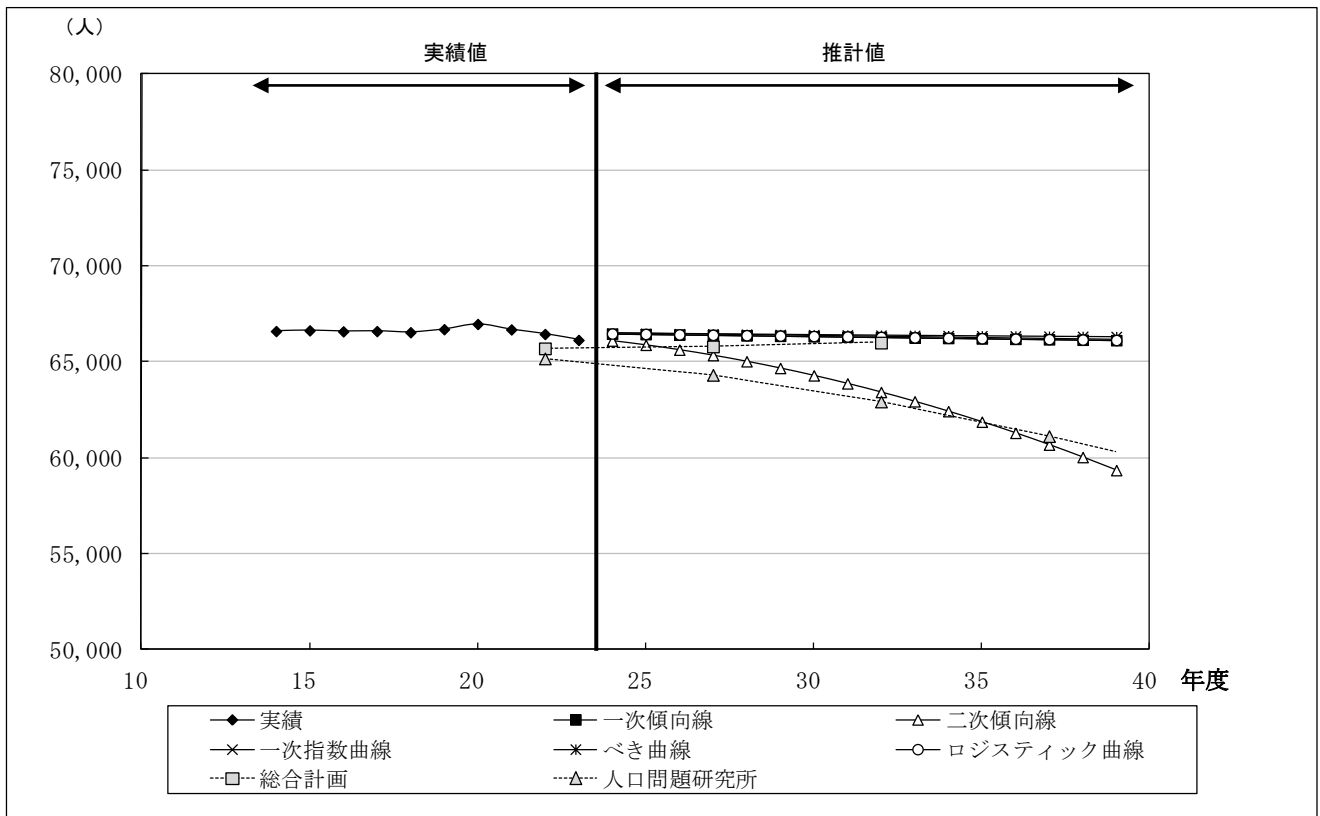


図 2-2 将来人口推計結果

表 2-2 将来人口推計結果

年度	人口 (人)								
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	総合計画	人口問題研究所	採用結果
14	66,601						-	-	
15	66,637						-	-	
16	66,586						-	-	
17	66,600						-	-	
18	66,541						-	-	
19	66,699						-	-	
20	66,970						-	-	
21	66,686						-	-	
22	66,448						65,700	65,175	
23	66,137						-	-	
24		66,466	66,104	66,465	66,491	66,473	-	-	66,122
25		66,444	65,884	66,443	66,476	66,451	-	-	66,107
26		66,421	65,631	66,420	66,462	66,429	-	-	66,091
27		66,398	65,345	66,397	66,448	66,406	65,800	64,318	66,076
28		66,376	65,026	66,375	66,435	66,384	-	-	66,061
29		66,353	64,675	66,352	66,422	66,362	-	-	66,046
30		66,330	64,290	66,329	66,410	66,340	-	-	66,030
31		66,308	63,873	66,307	66,398	66,317	-	-	66,015
32		66,285	63,422	66,284	66,387	66,295	66,000	62,928	66,000
33		66,263	62,939	66,262	66,375	66,272	-	-	65,985
34		66,240	62,423	66,239	66,365	66,250	-	-	65,970
35		66,217	61,873	66,216	66,354	66,227	-	-	65,954
36		66,195	61,291	66,194	66,344	66,204	-	-	65,939
37		66,172	60,676	66,171	66,334	66,181	-	61,123	65,924
38		66,150	60,028	66,149	66,324	66,159	-	-	65,909
39		66,127	59,348	66,126	66,315	66,136	-	-	65,893
相関係数	0.326	0.395	0.326	0.301	0.329				

平成 23 年度～平成 32 年度まで総合計画の平成 32 年度目標値に向かって傾いていくこととします。また、平成 33 年度以降も同様の傾きで推移することとします。

将来人口は、総合計画の目標値を基にした図 2-3 に示す推計結果を採用することとしました。

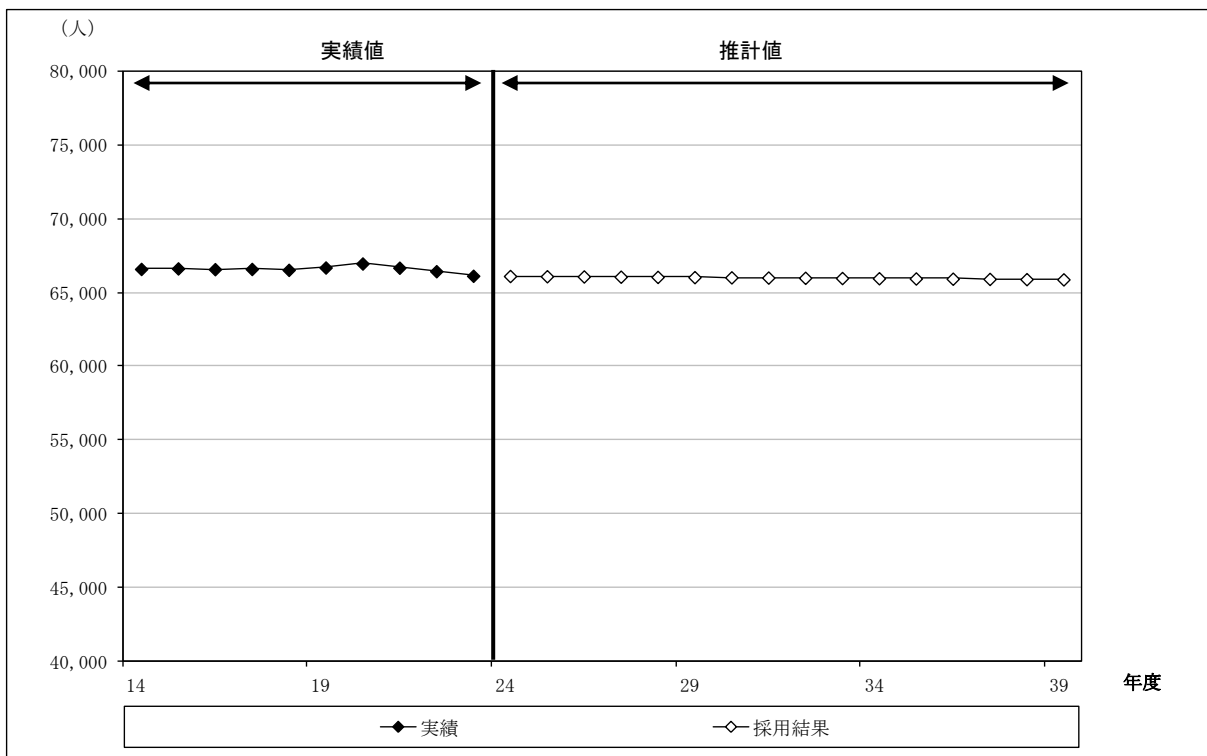


図 2-3 将来人口推計 採用結果

(2) ごみ量の推計

A. ごみ量の実績整理

ごみ排出量の将来値は過去5年間(平成19年度～平成23年度)の実績を基に、時系列分析によって推計を行います。

津島市のごみ排出量実績値(平成19年度～平成23年度)を表2-3(1)に示します。

表2-3(1) ごみ排出量実績

区 分	単 位	計 算 式 等	H. 19年度	H. 20年度	H. 21年度	H. 22年度	H. 23年度
(1) 収集人口	(人)	実績値	66,699	66,970	66,686	66,448	66,137
(2) 総排出量	(t/年) (g/人・日)	(3) + (4) (2)/((1)×365)×10 ⁶	25,387 1,042.8	24,745 1,012.3	23,764 976.3	22,271 918.3	21,586 894.2
(3) 生活系ごみ合計	(t/年) (g/人・日)	(3a)+(3b)+(3c) (3)/((1)×365)×10 ⁶	18,591 763.6	18,198 744.5	17,656 725.4	16,701 688.6	16,360 677.7
(3a) 収集ごみ	(t/年)	実績値	17,029	16,470	16,094	15,315	15,053
(3a-1) 可燃ごみ	(t/年)	実績値	12,263	12,239	12,216	11,950	12,088
(3a-2) 資源ごみ	(t/年)	実績値	3,876	3,593	3,270	2,778	2,491
(3a-2-1) 布類	(t/年)	実績値	101	91	84	78	75
(3a-2-2) ダンボール	(t/年)	実績値	399	361	335	307	300
(3a-2-3) 新聞	(t/年)	実績値	972	891	805	567	464
(3a-2-4) 雑誌	(t/年)	実績値	689	623	491	364	310
(3a-2-5) ガラス類	(t/年)	実績値	449	432	413	398	386
(3a-2-6) 金属類	(t/年)	実績値	372	335	311	258	216
(3a-2-7) プラ製容器	(t/年)	実績値	738	716	697	678	629
(3a-2-8) ペットボトル	(t/年)	実績値	118	109	97	96	83
(3a-2-9) リサイター※	(t/年)	実績値	10	8	10	7	1
(3a-2-10) 有害ごみ	(t/年)	実績値	27	27	27	26	26
(3a-3) 不燃ごみ	(t/年)	実績値	493	462	412	375	319
(3a-3-1) 不燃ごみ (八穂クリーンセンター搬入分)	(t/年)	実績値	451	427	400	365	303
(3a-3-2) 埋立ごみ (津島市最終処分場搬入分)	(t/年)	実績値	42	35	12	10	16
(3a-4) 粗大ごみ	(t/年)	実績値	397	176	196	212	155
(3a-4-1) 可燃性粗大ごみ	(t/年)	実績値	311	114	131	164	113
(3a-4-2) 不燃性粗大ごみ	(t/年)	実績値	86	62	65	48	42
(3b) 直接搬入ごみ	(t/年)	実績値	33	114	108	88	87
(3b-1) 可燃ごみ	(t/年)	環境省実態調査を基に(3b)から按分	8	29	19	17	16
(3b-2) 資源ごみ	(t/年)	環境省実態調査を基に(3b)から按分	5	18	15	7	7
(3b-3) 不燃ごみ	(t/年)	環境省実態調査を基に(3b)から按分	1	2	3	2	2
(3b-4) 粗大ごみ	(t/年)	環境省実態調査を基に(3b)から按分	19	65	71	62	62
(3b-4-1) 可燃性粗大ごみ	(t/年)	環境省実態調査を基に(3b)から按分	15	42	47	48	45
(3b-4-2) 不燃性粗大ごみ	(t/年)	環境省実態調査を基に(3b)から按分	4	23	24	14	17
(3c) 集団回収	(t/年)	実績値	1,529	1,614	1,454	1,298	1,220
(3c-1) 新聞紙	(t/年)	実績値	906	935	815	722	664
(3c-2) 雑誌	(t/年)	実績値	258	286	265	232	223
(3c-3) ダンボール	(t/年)	実績値	231	252	243	232	223
(3c-4) 衣類	(t/年)	実績値	60	66	64	57	59
(3c-5) アルミ缶	(t/年)	実績値	74	76	67	56	51
(4) 事業系ごみ合計	(t/年) (t/日) (g/人・日)	(4a) (4)/365 (4)/((1)×365)×10 ⁶	6,796 18.6 279.2	6,547 17.9 267.8	6,108 16.7 250.9	5,570 15.3 229.7	5,226 14.3 216.5
(4a) 直接搬入ごみ	(t/年)	実績値	6,796	6,547	6,108	5,570	5,226
(4a-1) 可燃ごみ	(t/年)	実績値	6,796	6,547	6,108	5,570	5,226
(4a-2) 資源ごみ	(t/年)	実績値	-	-	-	-	-
(4a-3) 不燃ごみ	(t/年)	実績値	-	-	-	-	-
(4a-4) 粗大ごみ	(t/年)	実績値	-	-	-	-	-

※リサイター：学校給食などの残飯を堆肥化する装置で平成23年8月に廃止されています。

津島市のごみ処理量実績値（平成19年度～平成23年度）を表3-3(2)に示します。

表 2-3(2) ごみ処理量実績

区 分	単 位	計算式等	H.19年度	H.20年度	H.21年度	H.22年度	H.23年度	
処 理 内 訳	(5) 焼却処理量	(t/年)	(5a) + (5b)	19,393	18,971	18,521	17,749	17,488
	(5a) 可燃ごみ	(t/年)	(5a-1) + (5a-2)	19,067	18,815	18,343	17,537	17,330
	(5a-1) 生活系可燃ごみ	(t/年)	(3a-1) + (3b-1)	12,271	12,268	12,235	11,967	12,104
	(5a-2) 事業系可燃ごみ	(t/年)	(4a-1)	6,796	6,547	6,108	5,570	5,226
	(5b) 可燃性粗大	(t/年)	(5b-1) + (5b-2)	326	156	178	212	158
	(5b-1) 生活系可燃性粗大	(t/年)	(3a-4-1) + (3b-4-1)	326	156	178	212	158
	(5b-2) 事業系可燃性粗大	(t/年)	(4a-4)	0	0	0	0	0
	(6) 焼却以外の中間処理量	(t/年)	(6a) + (6b)	4,464	4,160	3,789	3,224	2,877
	(6a) 資源ごみ	(t/年)	(6a-1) + (6a-2)	3,881	3,611	3,285	2,785	2,498
	(6a-1) 生活系資源ごみ	(t/年)	(3a-3) + (3b-3)	3,881	3,611	3,285	2,785	2,498
	(6a-2) 事業系資源ごみ	(t/年)	(4a-3)	0	0	0	0	0
	(6b) 不燃ごみ	(t/年)	(6a-1) + (6a-2)	494	464	415	377	321
	(6b-1) 生活系不燃ごみ	(t/年)	(3a-3) + (3b-3)	494	464	415	377	321
	(6b-2) 事業系不燃ごみ	(t/年)	(4a-3)	0	0	0	0	0
	(6c) 不燃性粗大ごみ	(t/年)	(6b-1) + (6b-2)	90	85	89	62	59
(6c-1) 生活系不燃性粗大ごみ	(t/年)	(3a-2) + (3b-2)	90	85	89	62	59	
(6c-2) 事業系不燃性粗大ごみ	(t/年)	(4b-2)	0	0	0	0	0	
(7) 最終処分量	(t/年)	(7a) + (7b)	1,877	2,838	3,008	2,661	2,533	
(7a) 焼却灰	(t/年)	実績値（環境省実態調査結果）	1,293	2,289	2,504	2,222	2,154	
(7b) 破碎くず等	(t/年)	(3a-3) + (3a-4-2) + (3b-3) + (3b-4-2)	584	549	504	439	380	
資 源 化 内 訳	(8) 資源化量	(t/年)	(8a) + (8b)	5,410	5,227	4,742	4,087	3,720
	(8a) クリーンセンター回収分	(t/年)	Σ(8a-1)～(8a-11)	3,881	3,611	3,285	2,785	2,498
	(8a-1) 布類	(t/年)	(3a-2-1)	101	91	84	78	75
	(8a-2) 段ボール	(t/年)	(3a-2-2)	399	361	335	307	300
	(8a-3) 新聞	(t/年)	(3a-2-3)	972	891	805	567	464
	(8a-4) 雑誌	(t/年)	(3a-2-4)	689	623	491	364	310
	(8a-5) ガラス類	(t/年)	(3a-2-5)	449	432	413	398	386
	(8a-6) 金属類	(t/年)	(3a-2-6)	372	335	311	258	216
	(8a-7) プラ製容器	(t/年)	(3a-2-7)	738	716	697	678	629
	(8a-8) ペットボトル	(t/年)	(3a-2-8)	118	109	97	96	83
	(8a-9) リサイター※	(t/年)	(3a-2-9)	10	8	10	7	1
	(8a-10) 有害ごみ	(t/年)	(3a-2-10)	27	27	27	26	26
	(8a-11) 直接搬入資源 (分類不可)	(t/年)	(3b-2) + (4a-2)	5	18	15	7	7
	(8b) 溶融スラグ	(t/年)	実績値（環境省実態調査結果）	0	1	3	3	3
	(8c) 集団回収分	(t/年)	Σ(8b-1)～(8b-7)	1,529	1,615	1,454	1,299	1,220
	(8c-1) 新聞紙	(t/年)	(3c-1)	906	935	815	722	664
	(8c-2) 雑誌	(t/年)	(3c-2)	258	286	265	232	223
	(8c-3) ダンボール	(t/年)	(3c-3)	231	252	243	232	223
	(8c-4) 衣類	(t/年)	(3c-4)	60	66	64	57	59
(8c-5) アルミ缶	(t/年)	(3c-5)	74	76	67	56	51	
(9) 資源化率	(%)	(8)/(2)×100	21.3	21.1	20.0	18.4	17.2	

※(5)焼却処理量：処理した実績ではなく、単純に可燃ごみ及び可燃性粗大ごみの合計値を用います。

※(6)焼却以外の中間処理量：処理した実績ではなく、単純に資源ごみ、不燃ごみ、不燃性粗大ごみの合計値を用います。

(注) 表2-3(1)の内、(3b)直接搬入ごみは全量を按分して各分別区分(可燃ごみ等)に割り振っています。

このため、小数点以下が隠れており、表2-3(1)中の数値の合計値と表2-3(2)の数値が異なる場合があります。

例) H34年度 (5a-1)生活系可燃ごみ：11,719 t ですが、(3a-1)可燃ごみ：11,700 t と(3b-1)可燃ごみ：18 t の合計値は11,718 t となります。

B. ごみ量の推計結果（収集資源及び集団回収を除く）

ごみ量の推計（収集資源及び集団回収を除く）は表 2-4 のとおりに行いました。
また、各項目のごみ排出量と原単位の実績をまとめたものを表 2-5 に示します。

表 2-4 ごみ量の推計方法（収集資源及び集団回収を除く）

ごみの分類	推計方法	採用根拠
①生活系収集 可燃ごみ	過去 5 年間の実績を基に べき曲線により推移	過去 5 年間の実績値に大きな変化もなく、今後もこの傾向が続くものと予測されるため、収集可燃ごみ 1 人 1 日当り排出量 (g/人・日) について、最も相関係数の高いべき曲線により推移していくものとします。
②生活系収集 不燃ごみ	過去 5 年間の実績を基に べき曲線により推移	過去 5 年間の実績値を見ると、年々減少しています。この実績値を推計式にあてはめた場合、減少が続いていくこととなります。この減少傾向について、今後は飽和していくことが考えられるため、最も減少率の少ないべき曲線により推移していくものとします。
③生活系収集 粗大ごみ	過去 4 年間の実績を基に ロジスティック曲線により推移	過去 5 年間の実績値の内、平成 20 年度以降の 4 年間で比較的一定の推移を示しています。今後もこの傾向が続くものと予測されるため、収集粗大ごみの 1 人 1 日当り排出量 (g/人・日) について、4 年間の実績を基にしたロジスティック曲線により推移していくものとします。
④生活系 直接搬入ごみ	平成 23 年度実績で一定推移	直接搬入ごみは、全体量が非常に少なくなっていますが、この反面で各年の排出量の変動が大きくなっています。 しかし、この 2 年間（平成 22 年度から平成 23 年度）では、ほぼ同程度の実績値となっており、平成 23 年度の実績値で一定推移していくものとします。
⑤事業系ごみ	平成 23 年度実績で一定推移	過去 5 年間の実績値を見ると、大きく減少しています。この実績値を推計式にあてはめた場合、減少が続いていくこととなります。事業規模の減少等の要因は考えられるものの、この数値は現実的な数値とはいえません。このため、平成 23 年度の実績値で一定推移していくものとします。

表 2-5 ごみ排出量と原単位の実績まとめ（収集資源及び集団回収を除く）

分別項目等	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
人口	(人)	66,699	66,970	66,686	66,448	66,137
①生活系収集可燃ごみ	(t/年)	12,263	12,239	12,216	11,950	12,088
	(g/人・日)	503.7	500.7	501.9	492.7	500.7
②生活系収集不燃ごみ	(t/年)	493	462	412	375	319
	(g/人・日)	20.3	18.9	16.9	15.5	13.2
③生活系収集粗大ごみ	(t/年)	397	176	196	212	155
	(g/人・日)	16.3	7.2	8.1	8.7	6.4
④生活系直接搬入ごみ	(t/年)	33	114	108	88	87
⑤事業系ごみ	(t/年)	6,796	6,547	6,108	5,570	5,226

①生活系収集可燃ごみの推計結果

生活系収集可燃ごみの推計結果を表 2-6 及び図 2-4 に示します。

表 2-6 生活系収集可燃ごみ排出量推計結果 (単位: g/人・日)

年度	生活系収集可燃ごみ排出量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	503.7					
20	500.7					
21	501.9					
22	492.7					
23	500.7					
24		495.8	501.6	495.8	495.9	495.8
25		494.4	506.1	494.4	494.7	494.3
26		493.0	512.3	493.0	493.6	492.8
27		491.6	520.1	491.6	492.4	491.2
28		490.2	529.7	490.3	491.4	489.7
29		488.8	540.8	488.9	490.4	488.0
30		487.4	553.7	487.5	489.4	486.4
31		486.0	568.3	486.2	488.4	484.7
32		484.6	584.5	484.8	487.5	483.0
33		483.2	602.4	483.5	486.6	481.2
34		481.9	622.0	482.1	485.7	479.4
35		480.5	643.3	480.8	484.9	477.5
36		479.1	666.2	479.4	484.1	475.7
37		477.7	690.9	478.1	483.3	473.7
38		476.3	717.2	476.8	482.5	471.8
39		474.9	745.1	475.5	481.8	469.8
相関係数		0.521	0.463	0.521	0.529	0.516
採用結果					○	

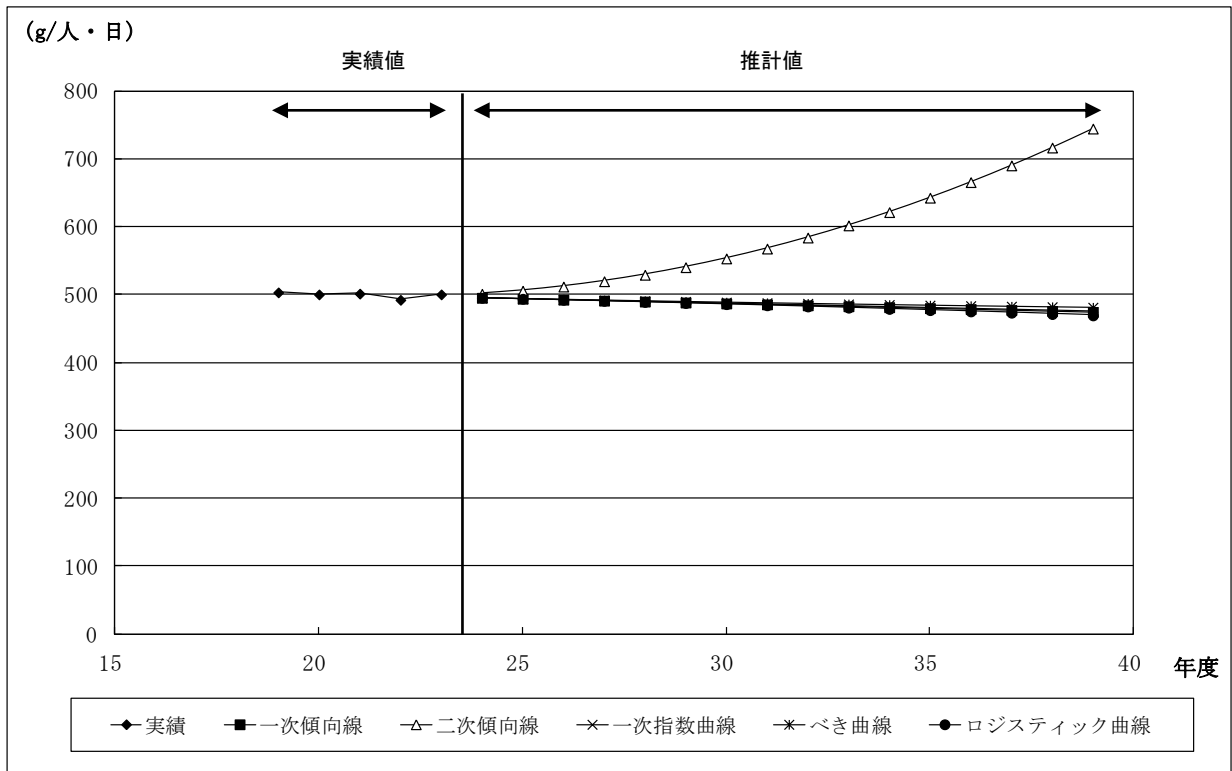


図 2-4 生活系収集可燃ごみ排出量推計結果

②生活系収集不燃ごみの推計結果

生活系収集不燃ごみの推計結果を表 2-7 及び図 2-5 に示します。

表 2-7 生活系収集不燃ごみ排出量推計結果 (単位: g/人・日)

年度	生活系収集不燃ごみ排出量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	20.3					
20	18.9					
21	16.9					
22	15.5					
23	13.2					
24		11.7	11.1	12.2	12.4	10.8
25		9.9	8.7	11.0	11.4	8.6
26		8.2	6.1	9.9	10.4	6.6
27		6.4	3.3	8.9	9.6	4.9
28		4.7	0.4	8.0	8.9	3.5
29		2.9	-2.7	7.2	8.2	2.5
30		1.2	-6.1	6.5	7.6	1.7
31		-0.6	-9.6	5.8	7.1	1.2
32		-2.3	-13.2	5.3	6.6	0.8
33		-4.1	-17.1	4.7	6.2	0.6
34		-5.8	-21.1	4.3	5.8	0.4
35		-7.6	-25.4	3.8	5.4	0.3
36		-9.3	-29.8	3.4	5.1	0.2
37		-11.1	-34.4	3.1	4.8	0.1
38		-12.8	-39.2	2.8	4.5	0.1
39		-14.6	-44.1	2.5	4.3	0.1
相関係数		0.997	0.998	0.991	0.990	0.986
採用結果					○	

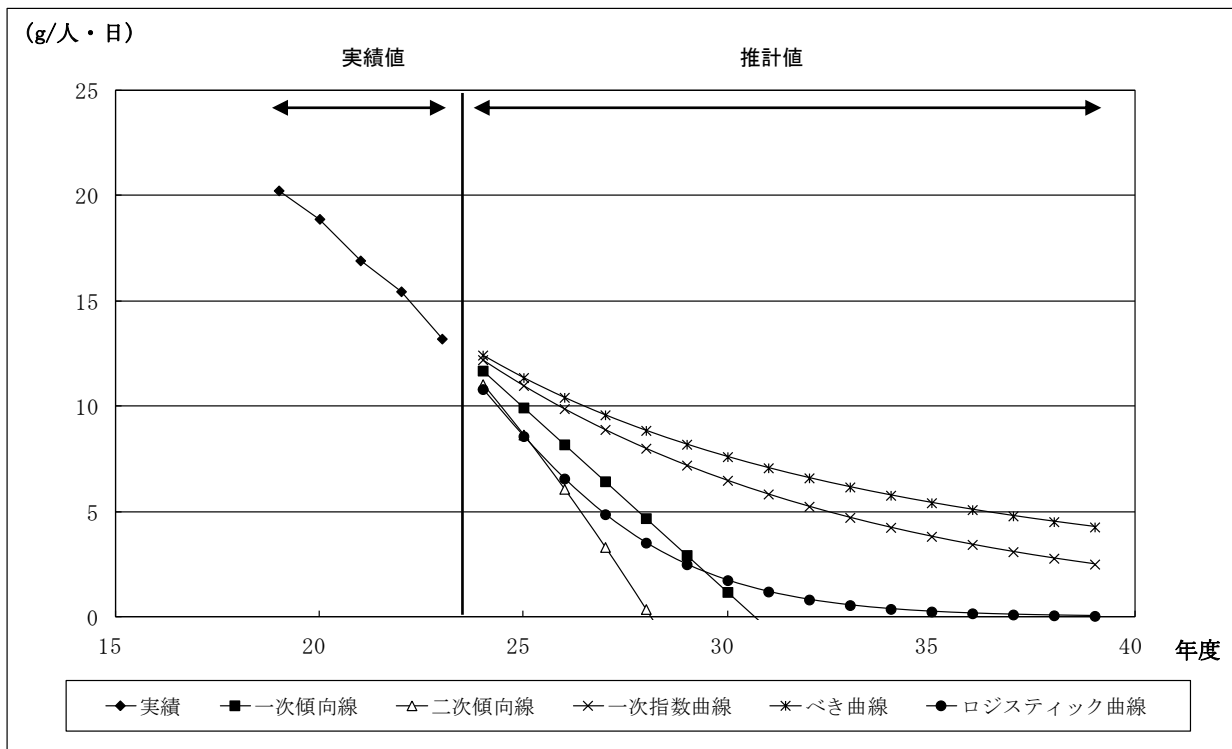


図 2-5 生活系収集不燃ごみ排出量推計結果

③生活系収集粗大ごみの推計結果

生活系収集粗大ごみの推計結果を表 2-8 及び図 2-6 に示します。

表 2-8 生活系収集粗大ごみ排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	生活系収集粗大ごみ排出量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19						
20	7.2					
21	8.1					
22	8.7					
23	6.4					
24		7.2	3.2	7.1	7.1	7.6
25		7.0	-1.7	6.9	7.0	7.5
26		6.9	-8.2	6.7	6.8	7.4
27		6.7	-16.3	6.5	6.7	7.3
28		6.5	-26.0	6.4	6.6	7.2
29		6.4	-37.3	6.2	6.5	7.1
30		6.2	-50.1	6.0	6.3	7.0
31		6.0	-64.6	5.9	6.2	6.9
32		5.9	-80.6	5.7	6.1	6.8
33		5.7	-98.2	5.6	6.0	6.7
34		5.5	-117.4	5.4	5.9	6.6
35		5.4	-138.2	5.3	5.9	6.5
36		5.2	-160.5	5.2	5.8	6.4
37		5.0	-184.5	5.0	5.7	6.3
38		4.9	-210.1	4.9	5.6	6.2
39		4.7	-237.2	4.8	5.5	6.0
相関係数		0.211	0.308	0.200	0.187	0.222
採用結果						○

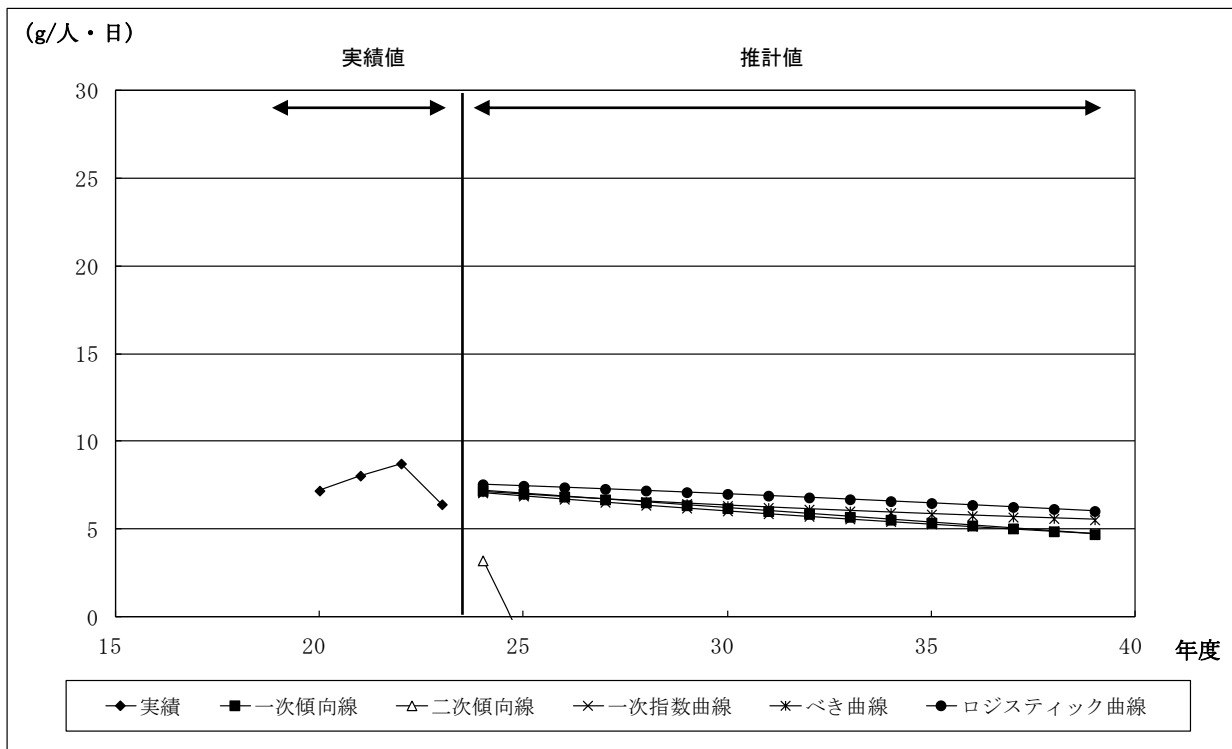


図 2-6 生活系収集粗大ごみ排出量推計結果

④生活系直接搬入ごみの推計結果

生活系直接搬入ごみの推計結果を表 2-9 及び図 2-7 に示します。

表 2-9 生活系直接搬入ごみ排出量推計結果 (単位: t/年)

年度	生活系直接搬入ごみ排出量 (t/年)						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	現状維持
19							
20	114						
21	108						
22	88						
23	87						
24		74	80	76	77	68	87
25		64	78	69	71	53	87
26		54	78	62	65	40	87
27		44	80	56	60	28	87
28		34	85	51	55	19	87
29		24	92	46	51	13	87
30		13	102	42	47	9	87
31		3	115	38	44	6	87
32		-7	129	34	41	4	87
33		-17	147	31	39	2	87
34		-27	167	28	36	1	87
35		-37	189	25	34	1	87
36		-47	214	23	32	1	87
37		-57	241	20	30	0	87
38		-67	271	18	28	0	87
39		-78	304	17	27	0	87
相関係数	0.945	0.188	0.949	0.949	0.952	-	-
採用結果							○

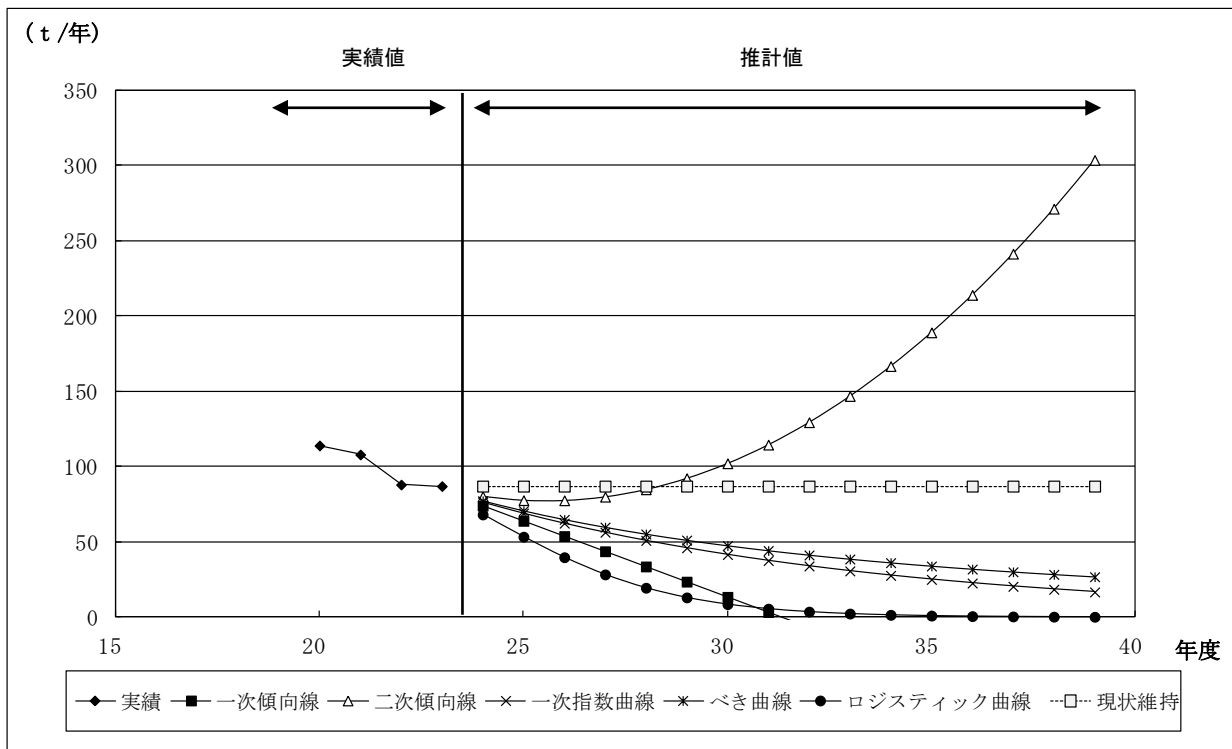


図 2-7 生活系直接搬入ごみ排出量推計結果

⑤事業系ごみの推計結果

事業系ごみの推計結果を表 2-10 及び図 2-8 に示します。

表 2-10 事業系ごみ排出量推計結果 (単位: t/年)

年度	事業系ごみ排出量 (t/年)						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	現状維持
19	6,796						
20	6,547						
21	6,108						
22	5,570						
23	5,226						
24		4,814	4,670	4,899	4,955	4,689	5,226
25		4,403	4,114	4,574	4,674	4,179	5,226
26		3,991	3,516	4,270	4,418	3,671	5,226
27		3,579	2,877	3,987	4,185	3,178	5,226
28		3,168	2,197	3,722	3,973	2,715	5,226
29		2,756	1,476	3,475	3,778	2,290	5,226
30		2,344	713	3,244	3,598	1,909	5,226
31		1,932	-91	3,029	3,433	1,575	5,226
32		1,521	-936	2,828	3,280	1,289	5,226
33		1,109	-1,822	2,640	3,139	1,046	5,226
34		697	-2,750	2,465	3,007	844	5,226
35		286	-3,719	2,301	2,885	678	5,226
36		-126	-4,729	2,148	2,771	542	5,226
37		-538	-5,781	2,006	2,664	431	5,226
38		-950	-6,874	1,873	2,564	342	5,226
39		-1,361	-8,008	1,748	2,470	271	5,226
相関係数		0.994	0.995	0.990	0.989	0.993	-
採用結果							○

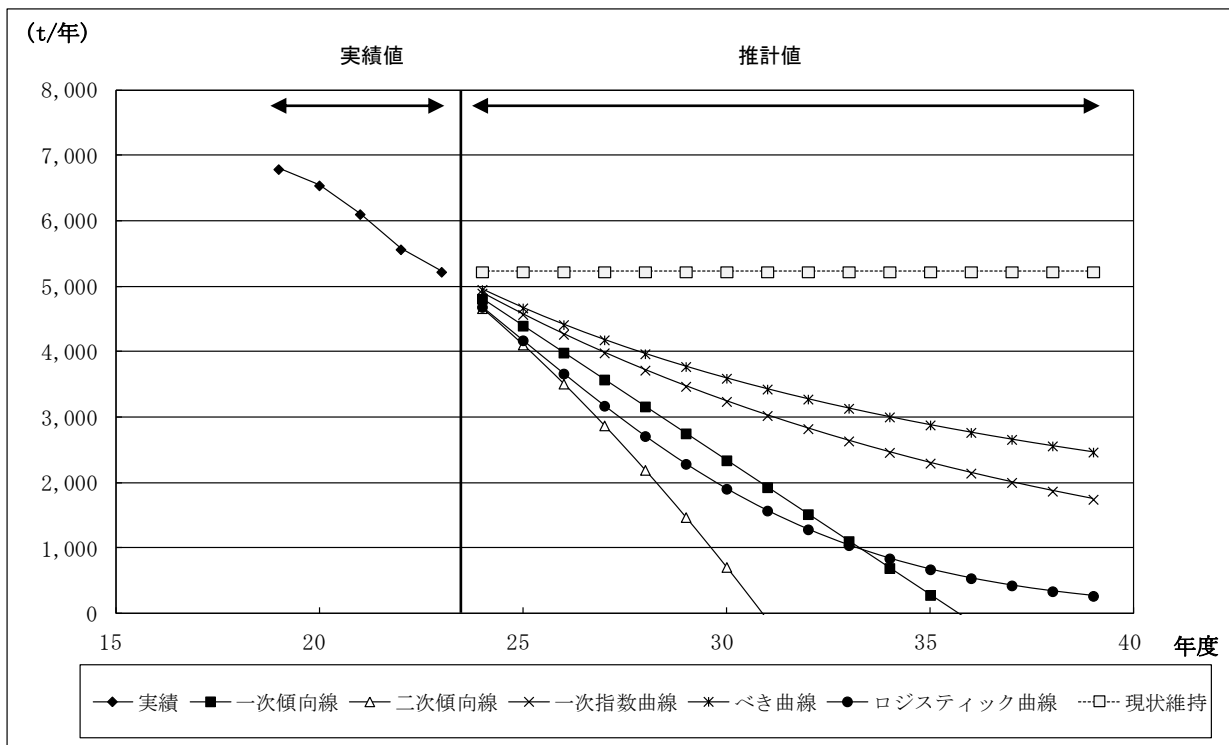


図 2-8 事業系ごみ排出量推計結果

C. ごみ量の推計結果（収集資源及び集団回収）

ごみ量の推計（収集資源及び集団回収）は表 2-11 のとおりに行いました。

また、各項目のごみ排出量と原単位の実績をまとめたものを表 2-12 に示します。

表 2-11 ごみ量の推計方法（収集資源及び集団回収）

ごみの分類	推計方法	採用根拠	
⑥生活系収集資源ごみ	布類	平成 23 年度実績値で一定推移	過去 5 年間の実績値において、年々減少の傾向がみられますが、平成 22～23 年度の 2 年間では、ほぼ同程度の数値となっています。このことから、今後、多少の増減はあるものの、平成 23 年度実績値で一定推移することとします。
	段ボール	平成 23 年度実績値で一定推移	過去 5 年間の実績値において、年々減少の傾向がみられますが、平成 22～23 年度の 2 年間では、ほぼ同程度の数値となっています。このことから、今後、多少の増減はあるものの、平成 23 年度実績値で一定推移することとします。
	新聞	過去 5 年間（平成 19～23 年度）の全国新聞発行実績の平均増減率（前年度比 1.6%減）を各年度に乗じて算出	過去 5 年間の実績値を見ると、大きく減少しています。この実績値を推計式にあてはめた場合、減少が続いていくこととなりますが、現実的な数値とはいえません。このため、表 2-13 に示す全国新聞発行実績の過去 5 年間の平均増減率（前年度比 1.6%減）を各年度に乗じていくこととします。
	雑誌	過去 5 年間の実績を基にべき曲線により推移	過去 5 年間の実績値を見ると、大きく減少していますが、平成 22～23 年度では、大きな差はなくなっています。このことから、今後、減少率は少なくなっていくことが予測され、最も減量率が少ないべき曲線により推移していくこととします。
	ガラス類	過去 5 年間の実績を基にべき曲線により推移	過去 5 年間の実績値を見ると、少しずつ減少しているものの平成 22～23 年度では大きな差はなくなっています。このことから、今後、減少率は少なくなっていくことが予測され、減少傾向の推計値の中で最も減量率が少なく、また、相関係数の最も高いべき曲線により推移していくこととします。
	金属類	過去 5 年間の実績を基にべき曲線により推移	過去 5 年間の実績値を見ると、大きく減少していますが、今後、減少量は飽和していくことが予測され、最も減量率が少ないべき曲線により推移していくこととします。
	プラ製容器	過去 5 年間の実績を基にべき曲線により推移	過去 5 年間の実績値を見ると、減少傾向がみられますが、今後、減少量は飽和していくことが予測され、最も減量率が少ないべき曲線により推移していくこととします。
	ペットボトル	過去 5 年間の実績を基にべき曲線により推移	過去 5 年間の実績値を見ると、減少傾向がみられますが、今後、減少量は飽和していくことが予測され、緩やかな減少傾向を示しているべき曲線により推移していくこととします。
	リサイター	排出量 0 で推移	リサイターの回収は平成 23 年度で終了しているため、後は排出量 0 で推移していくこととします。
	有害ごみ	過去 5 年間の平均値で推移	過去 5 年間をとおして、ほぼ一定の値で推移しています。今後もこのまま推移していくことが考えられるため、過去 5 年間の平均値で推移していくこととします。
⑦集団回収	新聞紙	過去 5 年間（平成 19～23 年度）の全国新聞発行実績の平均増減率（前年度比 1.6%減）を各年度に乗じて算出	過去 5 年間の実績値を見ると、減少傾向がみられ、この実績値を推計式にあてはめた場合、減少が続いていくこととなりますが、現実的な数値とはいえません。このため、表 2-13 に示す全国新聞発行実績の過去 5 年間の平均増減率（前年度比 1.6%減）を各年度に乗じていくこととします。
	雑誌	過去 5 年間の実績を基にべき曲線により推移	過去 5 年間の実績値を見ると、減少傾向がみられますが、平成 22～23 年度では、大きな差はなくなっています。このことから、今後、減少率は少なくなっていくことが予測され、最も減量率が少ないべき曲線により推移していくこととします。
	ダンボール	過去 5 年間の実績を基にべき曲線により推移	過去 5 年間をとおして、若干の減少傾向はあるものの、ほぼ一定の値で推移しています。今後もこのまま緩やかに減少していくことが考えられるため、最も減少率の少ないべき曲線により推移していくこととします。
	衣類	過去 5 年間の平均値で推移	過去 5 年間をとおして、ほぼ一定の値で推移しています。今後もこのまま推移していくことが考えられるため、過去 5 年間の平均値で推移していくこととします。
	アルミ缶	過去 5 年間の実績を基にべき曲線により推移	過去 5 年間の実績値を見ると、減少傾向がみられますが、今後、減少量は飽和していくことが予測され、最も減量率が少ないべき曲線により推移していくこととします。

表 2-12 ごみ排出量と原単位の実績まとめ（収集資源及び集団回収）

分別項目等		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
人口		(人)	66,699	66,970	66,686	66,448	66,137
⑥ 生活系収集資源ごみ	布類	(t/年)	101	91	84	78	75
		(g/人・日)	4.1	3.7	3.4	3.2	3.1
	段ボール	(t/年)	399	361	335	307	300
		(g/人・日)	16.4	14.8	13.7	12.7	12.4
	新聞	(t/年)	972	891	805	567	464
		(g/人・日)	39.9	36.4	33.1	23.4	19.2
	雑誌	(t/年)	689	623	491	364	310
		(g/人・日)	28.3	25.5	20.2	15.0	12.9
	ガラス類	(t/年)	449	432	413	398	386
		(g/人・日)	18.5	17.7	17.0	16.4	16.0
	金属類	(t/年)	372	335	311	258	216
		(g/人・日)	15.3	13.7	12.8	10.6	8.9
	プラ製容器	(t/年)	738	716	697	678	629
		(g/人・日)	30.3	29.3	28.6	27.9	26.1
ペットボトル	(t/年)	118	109	97	96	83	
	(g/人・日)	4.8	4.5	4.0	3.9	3.5	
リサイター	(t/年)	10	8	10	7	1	
	(g/人・日)	0.4	0.3	0.4	0.3	0.0	
有害ごみ	(t/年)	27	27	27	26	26	
	(g/人・日)	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
⑦ 集団回収	新聞紙	(t/年)	906	935	815	722	664
		(g/人・日)	37.2	38.3	33.5	29.8	27.5
	雑誌類	(t/年)	258	286	265	232	223
		(g/人・日)	10.6	11.7	10.9	9.6	9.2
	ダンボール	(t/年)	231	252	243	232	223
		(g/人・日)	9.5	10.3	10.0	9.6	9.2
	衣類	(t/年)	60	66	64	57	59
		(g/人・日)	2.5	2.7	2.6	2.4	2.4
	アルミ缶	(t/年)	74	76	67	56	51
		(g/人・日)	3.0	3.1	2.8	2.3	2.1

<参考>

表 2-13 全国の新聞発行部数と前年度増減率の推移

単位：部

年	合計	前年度増減率	種類別		発行形態別			世帯数	1世帯あたり部数	備考
			一般紙	スポーツ紙	セット部数	朝刊単独部数	夕刊単独部数			
2011年	48,345,304	1.98%	44,091,335	4,253,969	13,235,658	33,975,622	1,134,024	53,549,522	0.9	前年度増減率 過去5年間平均 1.6%
2010年	49,321,840	2.05%	44,906,720	4,415,120	13,877,495	34,259,015	1,185,330	53,362,801	0.92	
2009年	50,352,831	2.21%	45,659,885	4,692,946	14,727,162	34,399,779	1,225,890	52,877,802	0.95	
2008年	51,491,409	1.03%	46,563,681	4,927,728	15,715,332	34,403,818	1,372,259	52,324,877	0.98	
2007年	52,028,671	0.54%	46,963,136	5,065,535	16,408,728	34,174,558	1,445,385	51,713,048	1.01	

出典：一般社団法人日本新聞協会

⑥生活系収集資源ごみの推計結果

a. 衣類

生活系収集資源ごみ（衣類）の推計結果を表 2-13 及び図 2-9 に示します。

表 2-13 生活系収集資源ごみ（衣類）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	生活系収集資源（布類）排出量（g/人・日）						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	現状維持
19	4.1						
20	3.7						
21	3.4						
22	3.2						
23	3.1						
24		2.8	3.1	2.8	2.9	2.5	3.1
25		2.5	3.2	2.6	2.7	2.1	3.1
26		2.2	3.4	2.4	2.5	1.7	3.1
27		2.0	3.7	2.3	2.4	1.3	3.1
28		1.7	4.1	2.1	2.3	1.0	3.1
29		1.5	4.5	2.0	2.1	0.7	3.1
30		1.2	5.1	1.8	2.0	0.5	3.1
31		1.0	5.8	1.7	1.9	0.4	3.1
32		0.7	6.6	1.6	1.9	0.3	3.1
33		0.5	7.5	1.5	1.8	0.2	3.1
34		0.2	8.4	1.4	1.7	0.1	3.1
35		-0.1	9.5	1.3	1.6	0.1	3.1
36		-0.3	10.7	1.2	1.5	0.1	3.1
37		-0.6	12.0	1.1	1.5	0.0	3.1
38		-0.8	13.3	1.0	1.4	0.0	3.1
39		-1.1	14.8	1.0	1.4	0.0	3.1
相関係数		0.975	0.893	0.983	0.986	0.985	-
採用結果							○

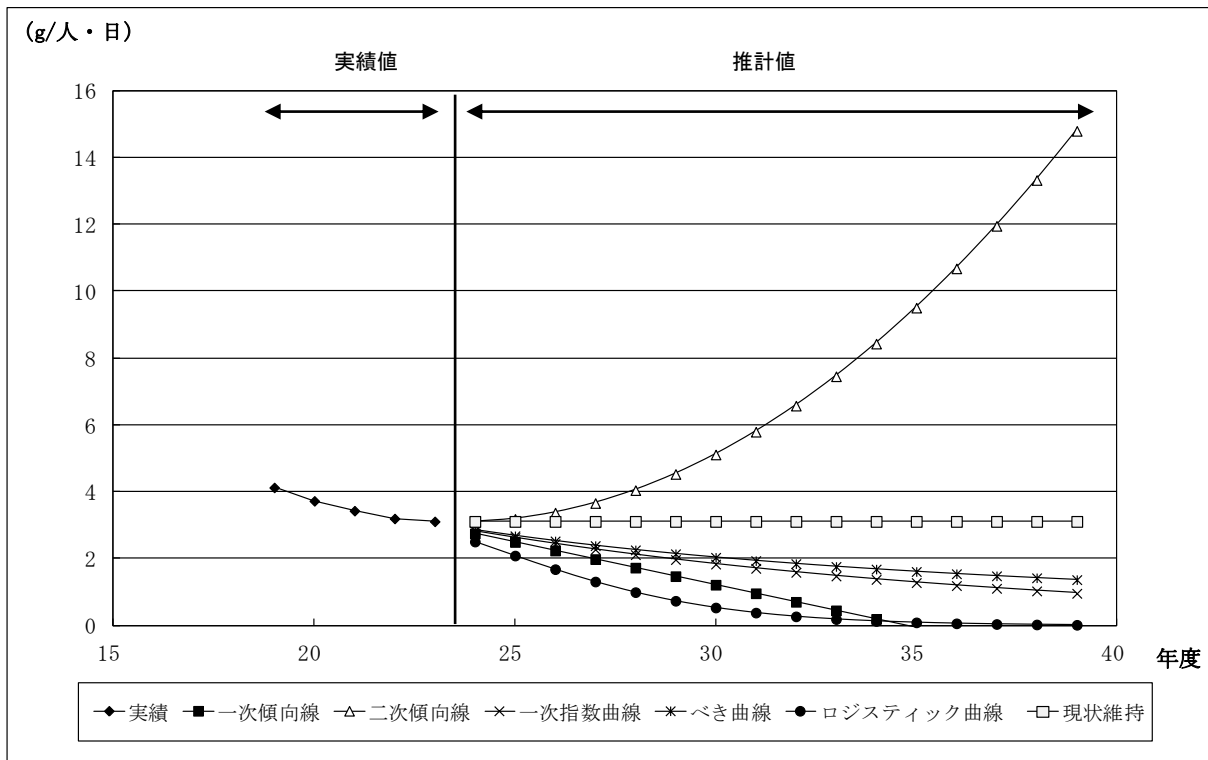


図 2-9 生活系収集資源ごみ（衣類）排出量推計結果

b. ダンボール

生活系収集資源ごみ（ダンボール）の推計結果を表 2-14 及び図 2-10 に示します。

表 2-14 生活系収集資源ごみ（ダンボール）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	生活系収集資源（ダンボール）排出量（g/人・日）						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	現状維持
19	16.4						
20	14.8						
21	13.7						
22	12.7						
23	12.4						
24		11.0	12.4	11.3	11.4	10.1	12.4
25		10.0	12.7	10.5	10.7	8.4	12.4
26		9.0	13.4	9.8	10.1	6.8	12.4
27		8.0	14.6	9.1	9.6	5.3	12.4
28		7.0	16.1	8.5	9.1	4.1	12.4
29		6.0	18.0	7.9	8.6	3.0	12.4
30		5.0	20.2	7.4	8.2	2.2	12.4
31		4.0	22.9	6.9	7.8	1.6	12.4
32		3.0	25.9	6.4	7.4	1.1	12.4
33		2.0	29.4	6.0	7.1	0.8	12.4
34		1.0	33.2	5.6	6.8	0.6	12.4
35		0.0	37.4	5.2	6.5	0.4	12.4
36		-1.0	42.0	4.8	6.2	0.3	12.4
37		-2.0	46.9	4.5	6.0	0.2	12.4
38		-3.0	52.3	4.2	5.8	0.1	12.4
39		-4.0	58.0	3.9	5.5	0.1	12.4
相関係数		0.973	0.892	0.982	0.984	0.983	-
採用結果							○

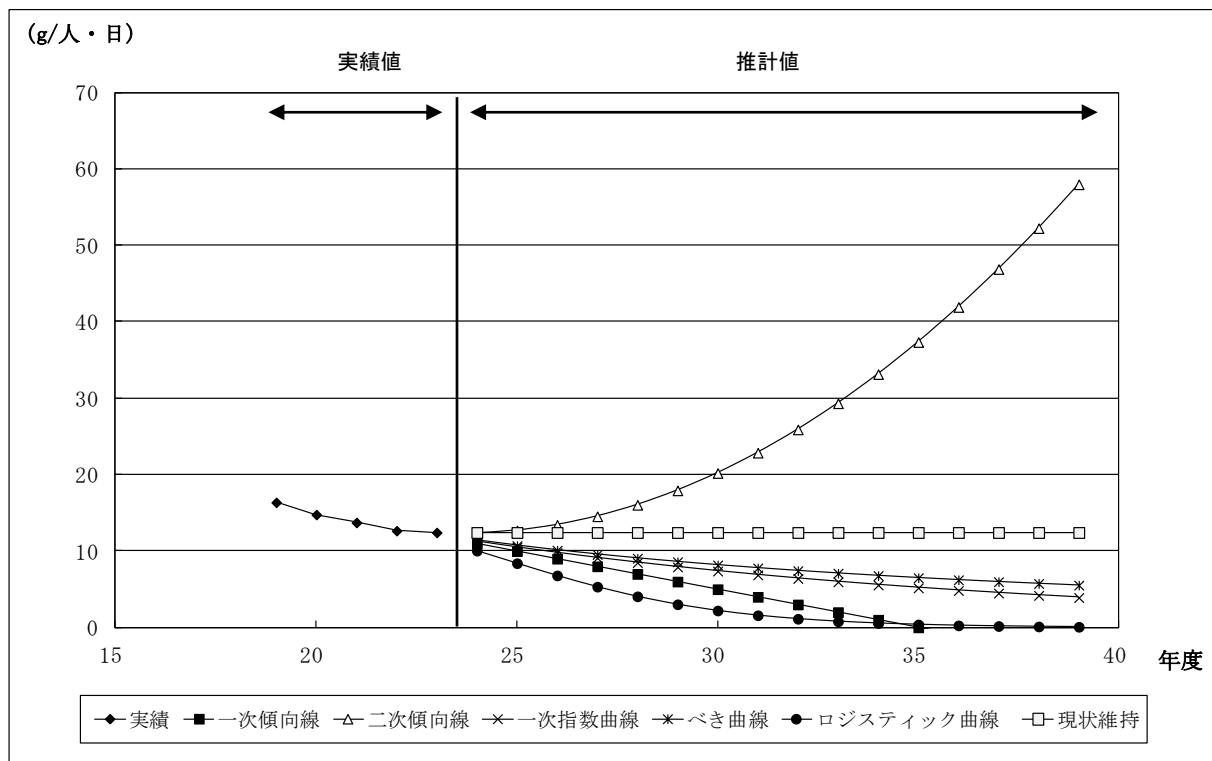


図 2-10 生活系収集資源ごみ（ダンボール）排出量推計結果

c. 新聞

生活系収集資源ごみ（新聞）の推計結果を表 2-15 及び図 2-11 に示します。

表 2-15 生活系収集資源ごみ（新聞）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	生活系収集資源（新聞）排出量（g/人・日）						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	新聞発行部数推移率
19	39.9						
20	36.4						
21	33.1						
22	23.4						
23	19.2						
24		14.1	10.2	16.5	17.1	12.0	18.9
25		8.6	0.9	13.7	14.5	7.2	18.6
26		3.2	-9.4	11.3	12.4	4.1	18.3
27		-2.3	-20.9	9.3	10.7	2.2	18.0
28		-7.7	-33.5	7.7	9.3	1.2	17.7
29		-13.2	-47.1	6.4	8.1	0.6	17.4
30		-18.6	-61.9	5.3	7.1	0.3	17.2
31		-24.1	-77.8	4.4	6.2	0.2	16.9
32		-29.5	-94.7	3.6	5.5	0.1	16.6
33		-35.0	-112.8	3.0	4.8	0.0	16.4
34		-40.5	-131.9	2.5	4.3	0.0	16.1
35		-45.9	-152.1	2.0	3.8	0.0	15.8
36		-51.4	-173.5	1.7	3.4	0.0	15.6
37		-56.8	-195.9	1.4	3.1	0.0	15.3
38		-62.3	-219.4	1.1	2.8	0.0	15.1
39		-67.7	-244.0	0.9	2.5	0.0	14.8
相関係数		0.981	0.986	0.961	0.961	0.910	-
採用結果							○

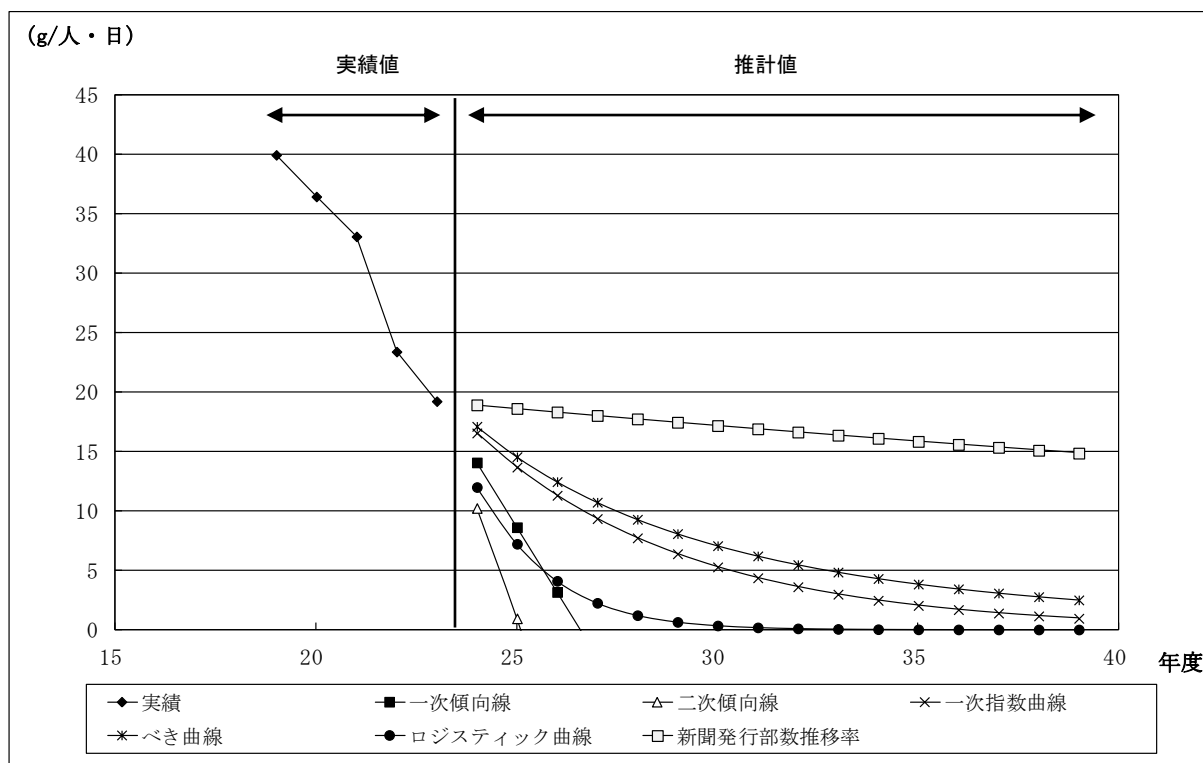


図 2-11 生活系収集資源ごみ（新聞）排出量推計結果

d. 雑誌

生活系収集資源ごみ（雑誌）の推計結果を表 2-16 及び図 2-12 に示します。

表 2-16 生活系収集資源ごみ（雑誌）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	生活系収集資源（雑誌）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	28.3					
20	25.5					
21	20.2					
22	15.0					
23	12.9					
24		7.9	8.7	10.3	10.7	9.1
25		3.8	5.3	8.4	8.9	6.6
26		-0.4	2.2	6.8	7.5	4.7
27		-4.5	-0.7	5.5	6.4	3.3
28		-8.6	-3.4	4.4	5.4	2.3
29		-12.8	-5.9	3.6	4.6	1.6
30		-16.9	-8.1	2.9	4.0	1.1
31		-21.1	-10.2	2.4	3.5	0.7
32		-25.2	-12.0	1.9	3.0	0.5
33		-29.3	-13.6	1.5	2.6	0.3
34		-33.5	-14.9	1.3	2.3	0.2
35		-37.6	-16.1	1.0	2.0	0.2
36		-41.8	-17.0	0.8	1.8	0.1
37		-45.9	-17.7	0.7	1.6	0.1
38		-50.1	-18.2	0.5	1.4	0.0
39		-54.2	-18.4	0.4	1.3	0.0
相関係数		0.991	0.991	0.986	0.986	0.980
採用結果					○	

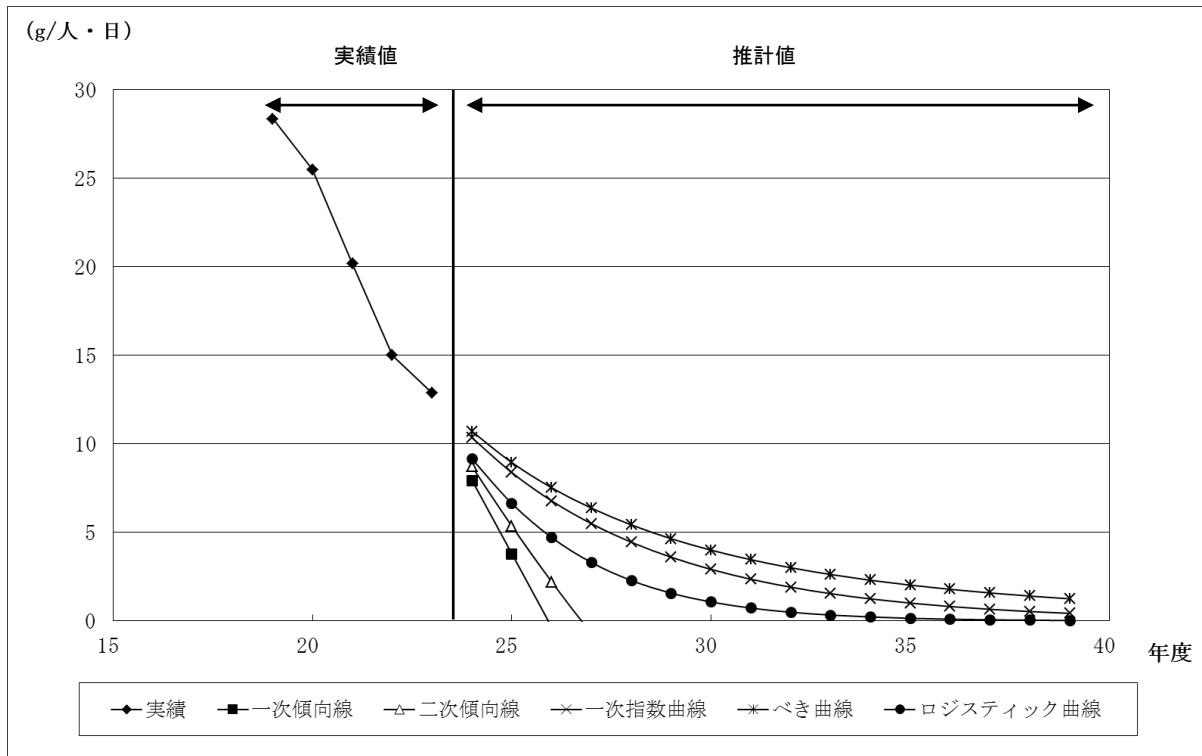


図 2-10 生活系収集資源ごみ（雑誌）排出量推計結果

e. ガラス類

生活系収集資源ごみ（ガラス類）の推計結果を表 2-17 及び図 2-13 に示します。

表 2-17 生活系収集資源ごみ（ガラス類）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	生活系収集資源（ガラス類）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	18.5					
20	17.7					
21	17.0					
22	16.4					
23	16.0					
24		15.2	15.7	15.3	15.4	14.8
25		14.6	15.5	14.8	14.9	13.7
26		14.0	15.4	14.3	14.5	12.6
27		13.4	15.5	13.8	14.1	11.4
28		12.8	15.7	13.3	13.7	10.2
29		12.1	16.0	12.8	13.4	8.9
30		11.5	16.4	12.3	13.0	7.7
31		10.9	17.0	11.9	12.7	6.6
32		10.3	17.7	11.5	12.4	5.6
33		9.7	18.5	11.1	12.1	4.6
34		9.1	19.4	10.7	11.8	3.8
35		8.4	20.5	10.3	11.6	3.1
36		7.8	21.6	9.9	11.3	2.5
37		7.2	22.9	9.6	11.1	2.0
38		6.6	24.4	9.2	10.9	1.6
39		6.0	25.9	8.9	10.7	1.3
相関係数		0.993	0.105	0.995	0.997	0.988
採用結果					○	

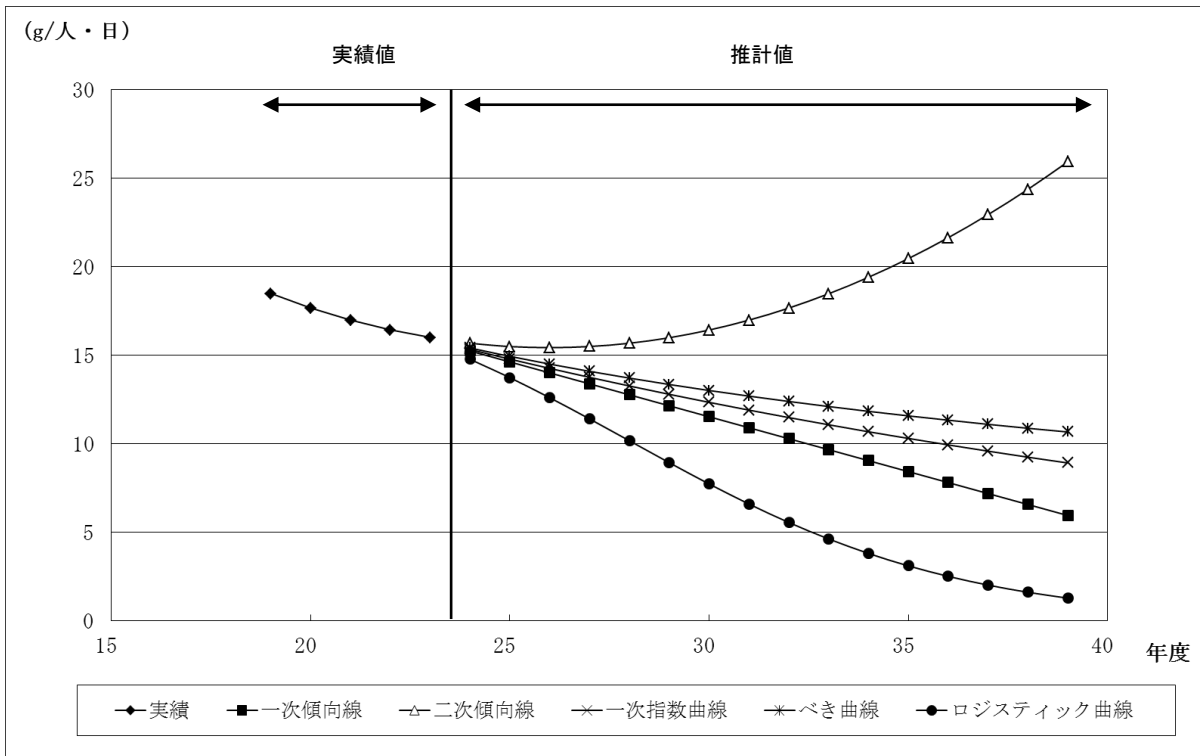


図 2-13 生活系収集資源ごみ（ガラス類）排出量推計結果

f. 金属ごみ

生活系収集資源ごみ（金属ごみ）の推計結果を表 2-18 及び図 2-14 に示します。

表 2-18 生活系収集資源ごみ（金属ごみ）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	生活系収集資源（金属ごみ）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	15.3					
20	13.7					
21	12.8					
22	10.6					
23	8.9					
24		7.5	6.8	8.1	8.3	6.9
25		6.0	4.5	7.1	7.4	5.1
26		4.4	1.9	6.2	6.6	3.6
27		2.8	-0.8	5.4	6.0	2.5
28		1.2	-3.8	4.8	5.4	1.7
29		-0.3	-7.0	4.2	4.9	1.1
30		-1.9	-10.4	3.6	4.5	0.7
31		-3.5	-14.0	3.2	4.1	0.5
32		-5.1	-17.8	2.8	3.7	0.3
33		-6.7	-21.9	2.4	3.4	0.2
34		-8.2	-26.1	2.1	3.2	0.1
35		-9.8	-30.6	1.9	2.9	0.1
36		-11.4	-35.3	1.6	2.7	0.0
37		-13.0	-40.2	1.4	2.5	0.0
38		-14.5	-45.3	1.3	2.3	0.0
39		-16.1	-50.6	1.1	2.2	0.0
相関係数		0.993	0.996	0.984	0.983	0.970
採用結果					○	

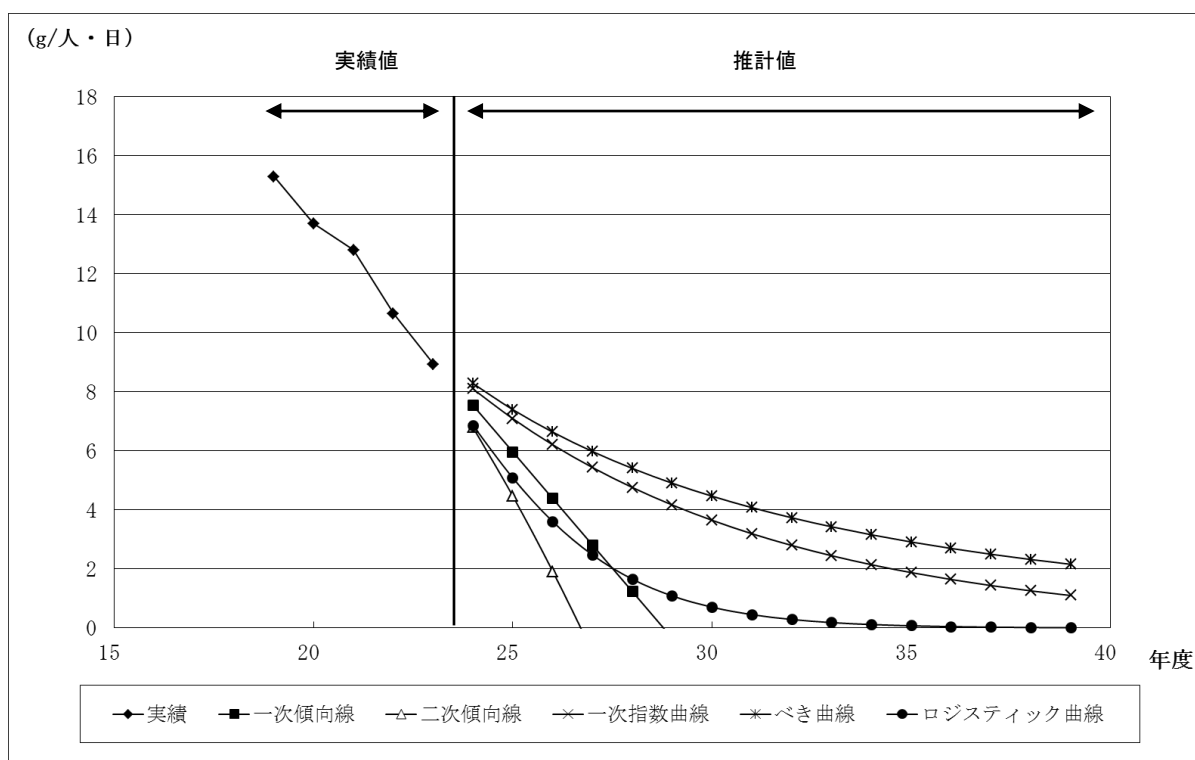


図 2-14 生活系収集資源ごみ（金属ごみ）排出量推計結果

g. プラ容器

生活系収集資源ごみ（プラ容器）の推計結果を表 2-19 及び図 2-15 に示します。

表 2-18 生活系収集資源ごみ（プラ容器）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	生活系収集資源（プラ容器）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	30.3					
20	29.3					
21	28.6					
22	27.9					
23	26.1					
24		25.5	24.6	25.6	25.7	23.1
25		24.5	22.7	24.7	25.0	19.7
26		23.5	20.6	23.9	24.3	15.7
27		22.5	18.2	23.0	23.6	11.6
28		21.5	15.6	22.2	23.0	8.1
29		20.6	12.7	21.5	22.4	5.3
30		19.6	9.5	20.7	21.9	3.4
31		18.6	6.1	20.0	21.4	2.1
32		17.6	2.4	19.3	20.9	1.2
33		16.6	-1.5	18.7	20.4	0.7
34		15.6	-5.7	18.0	20.0	0.4
35		14.6	-10.1	17.4	19.6	0.3
36		13.7	-14.8	16.8	19.2	0.2
37		12.7	-19.7	16.2	18.8	0.1
38		11.7	-24.9	15.7	18.4	0.1
39		10.7	-30.3	15.1	18.1	0.0
相関係数	0.977	0.985	0.974	0.971	0.973	
採用結果				○		

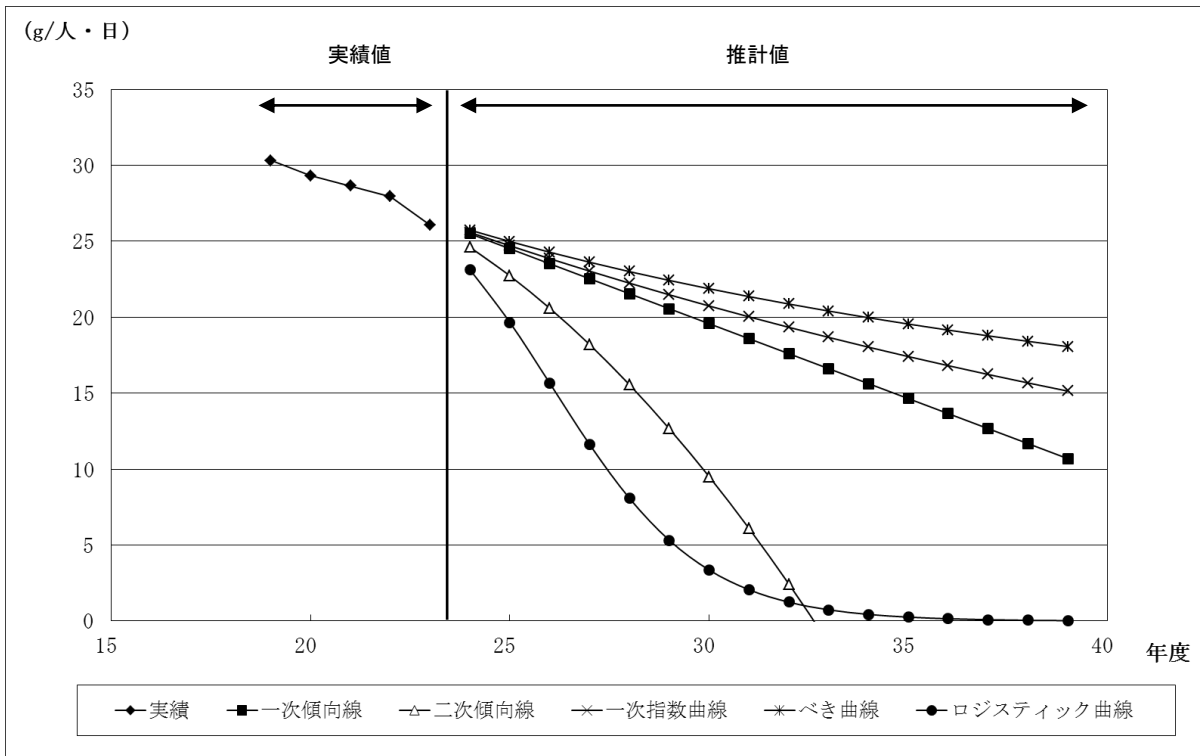


図 2-15 生活系収集資源ごみ（プラ容器）排出量推計結果

h. ペットボトル

生活系収集資源ごみ（ペットボトル）の推計結果を表 2-20 及び図 2-16 に示します。

表 2-20 生活系収集資源ごみ（ペットボトル）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	生活系収集資源（ペットボトル）排出量（g/人・日）					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	4.8					
20	4.5					
21	4.0					
22	3.9					
23	3.5					
24		3.2	3.2	3.2	3.3	3.0
25		2.8	3.0	3.0	3.1	2.5
26		2.5	2.8	2.8	2.9	2.1
27		2.2	2.6	2.5	2.7	1.7
28		1.8	2.4	2.4	2.5	1.4
29		1.5	2.3	2.2	2.4	1.1
30		1.2	2.2	2.0	2.3	0.8
31		0.8	2.1	1.8	2.1	0.6
32		0.5	2.0	1.7	2.0	0.5
33		0.2	2.0	1.6	1.9	0.3
34		-0.1	2.0	1.5	1.8	0.3
35		-0.5	2.0	1.3	1.7	0.2
36		-0.8	2.0	1.2	1.7	0.1
37		-1.1	2.1	1.1	1.6	0.1
38		-1.5	2.2	1.1	1.5	0.1
39		-1.8	2.3	1.0	1.5	0.1
相関係数		0.982	0.983	0.983	0.983	0.982
採用結果					○	

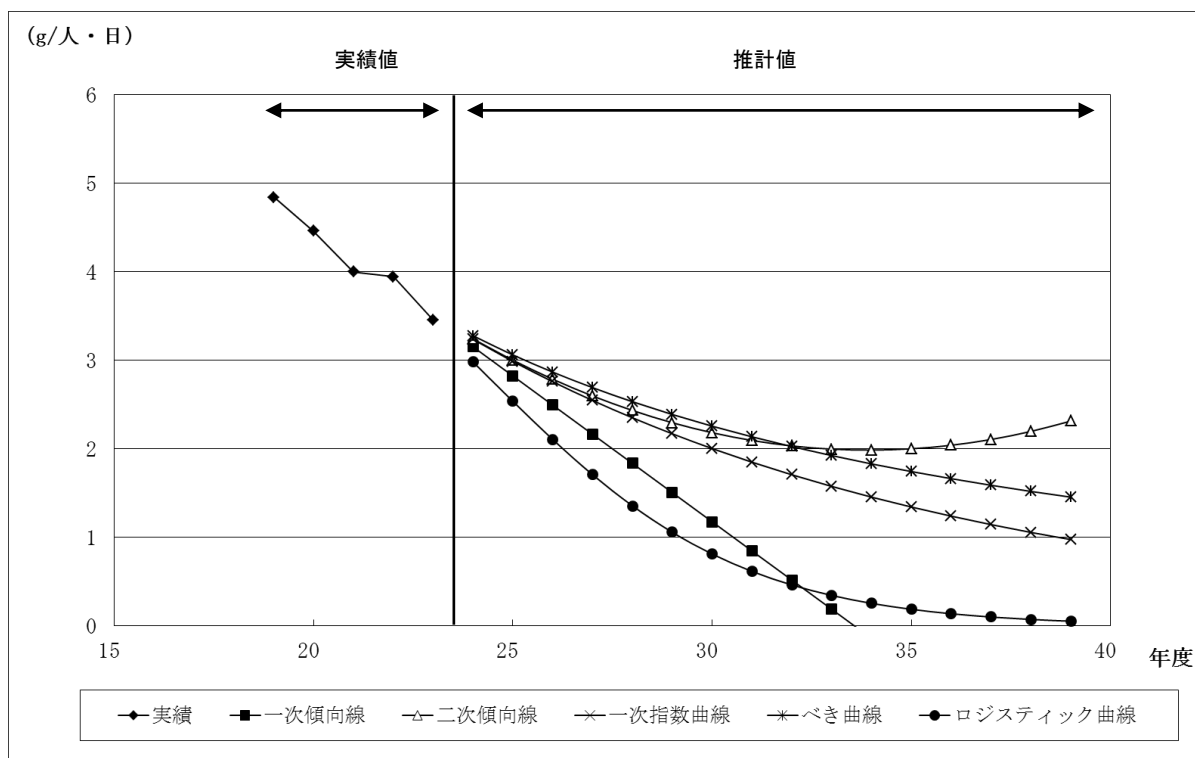


図 2-16 生活系収集資源ごみ（ペットボトル）排出量推計結果

⑦ 集団回収の推計結果

a. 新聞

集団回収（新聞）の推計結果を表 2-21 及び図 2-17 に示します。

表 2-21 集団回収（新聞）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	新聞 集団回収量 (g/人・日)						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	新聞発行部数推移率
19	37.2						
20	38.3						
21	33.5						
22	29.8						
23	27.5						
24		24.9	22.1	25.5	25.9	21.5	27.1
25		22.1	16.5	23.4	24.1	15.9	26.6
26		19.3	10.2	21.5	22.5	11.0	26.2
27		16.5	3.0	19.7	21.0	7.1	25.8
28		13.7	-4.9	18.1	19.7	4.4	25.4
29		10.9	-13.6	16.6	18.5	2.6	25.0
30		8.1	-23.1	15.3	17.4	1.5	24.6
31		5.3	-33.5	14.0	16.4	0.9	24.2
32		2.6	-44.6	12.9	15.5	0.5	23.8
33		-0.2	-56.5	11.8	14.7	0.3	23.4
34		-3.0	-69.2	10.8	13.9	0.2	23.0
35		-5.8	-82.6	10.0	13.2	0.1	22.7
36		-8.6	-96.9	9.1	12.6	0.1	22.3
37		-11.4	-112.0	8.4	12.0	0.0	21.9
38		-14.2	-127.8	7.7	11.4	0.0	21.6
39		-17.0	-144.5	7.1	10.9	0.0	21.2
相関係数		0.952	0.961	0.942	0.939	0.926	-
採用結果							○

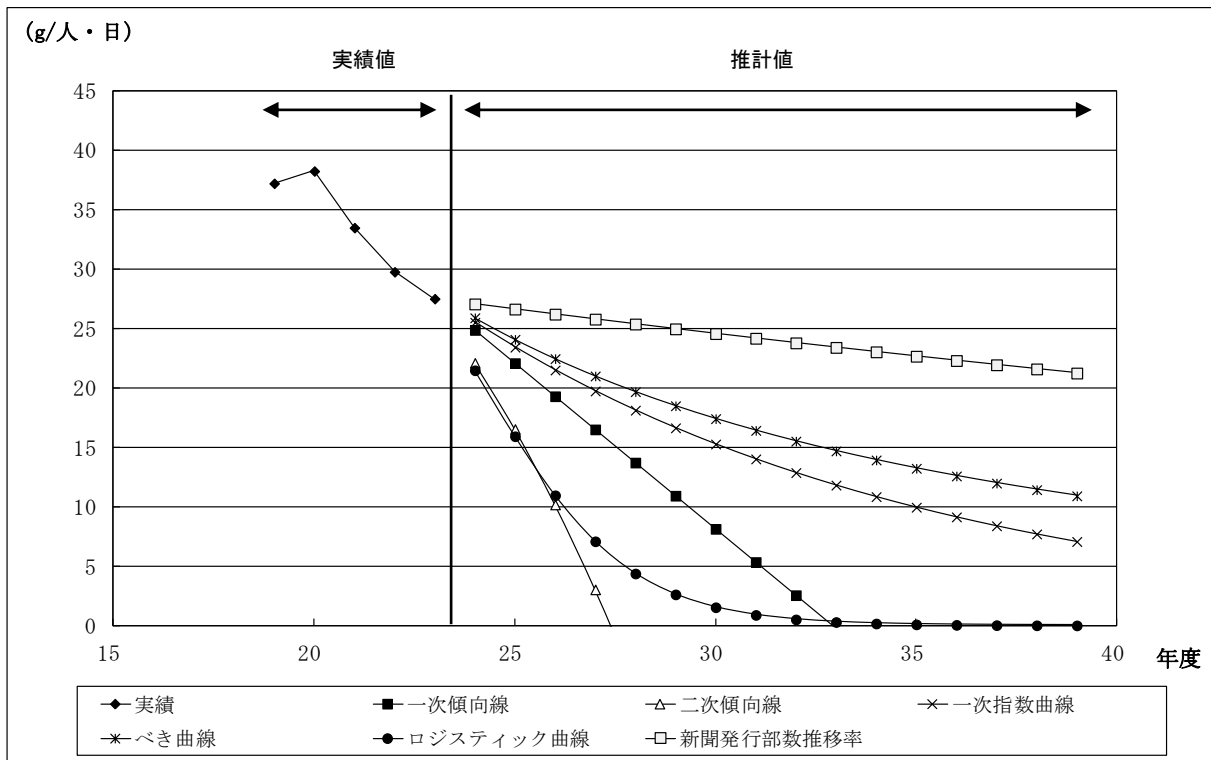


図 2-17 集団回収（新聞）排出量推計結果

a. 雑誌

集団回収（雑誌）の推計結果を表 2-22 及び図 2-18 に示します。

表 2-22 集団回収（雑誌）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	雑誌 集団回収量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	10.6					
20	11.7					
21	10.9					
22	9.6					
23	9.2					
24		8.9	7.3	9.0	9.1	8.8
25		8.5	5.1	8.6	8.7	8.1
26		8.0	2.4	8.2	8.4	7.3
27		7.5	-0.7	7.8	8.1	6.6
28		7.0	-4.3	7.4	7.8	5.8
29		6.5	-8.4	7.1	7.5	5.0
30		6.0	-13.0	6.7	7.3	4.3
31		5.5	-18.0	6.4	7.1	3.6
32		5.1	-23.6	6.1	6.8	3.0
33		4.6	-29.6	5.9	6.6	2.5
34		4.1	-36.1	5.6	6.4	2.0
35		3.6	-43.1	5.3	6.3	1.6
36		3.1	-50.6	5.1	6.1	1.3
37		2.6	-58.5	4.8	5.9	1.1
38		2.1	-66.9	4.6	5.8	0.8
39		1.7	-75.8	4.4	5.6	0.7
相関係数		0.766	0.807	0.753	0.744	0.777
採用結果					○	

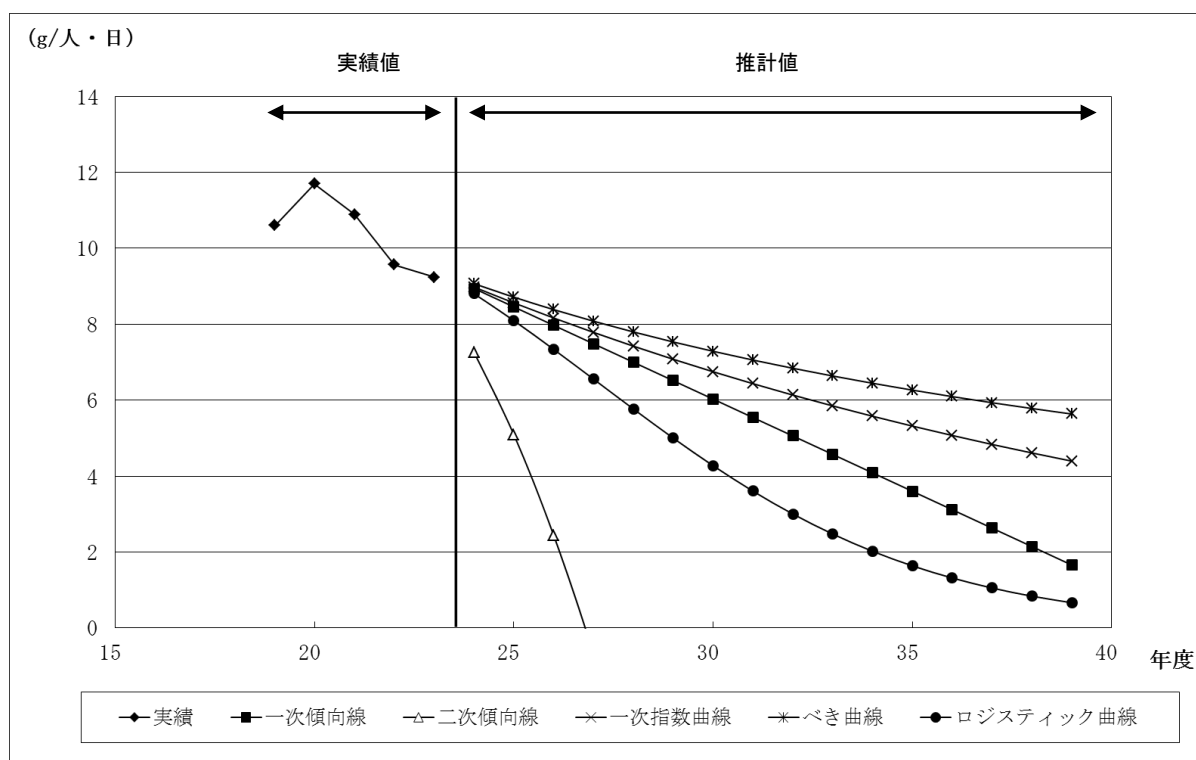


図 2-18 集団回収（雑誌）排出量推計結果

b. ダンボール

集団回収（ダンボール）の推計結果を表 2-23 及び図 2-19 に示します。

表 2-23 集団回収（ダンボール）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	ダンボール 集団回収量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	9.5					
20	10.3					
21	10.0					
22	9.6					
23	9.2					
24		9.3	8.1	9.3	9.4	9.3
25		9.2	6.8	9.2	9.3	9.2
26		9.1	5.2	9.1	9.2	9.0
27		9.0	3.2	9.0	9.1	8.8
28		8.8	0.8	8.9	9.0	8.7
29		8.7	-1.9	8.8	8.9	8.5
30		8.6	-4.9	8.6	8.9	8.3
31		8.5	-8.3	8.5	8.8	8.0
32		8.3	-12.0	8.4	8.7	7.8
33		8.2	-16.0	8.3	8.6	7.6
34		8.1	-20.4	8.2	8.6	7.4
35		8.0	-25.1	8.1	8.5	7.1
36		7.8	-30.2	8.0	8.5	6.9
37		7.7	-35.6	7.9	8.4	6.6
38		7.6	-41.4	7.8	8.3	6.4
39		7.5	-47.5	7.7	8.3	6.1
相関係数		0.462	0.541	0.456	0.440	0.486
採用結果					○	

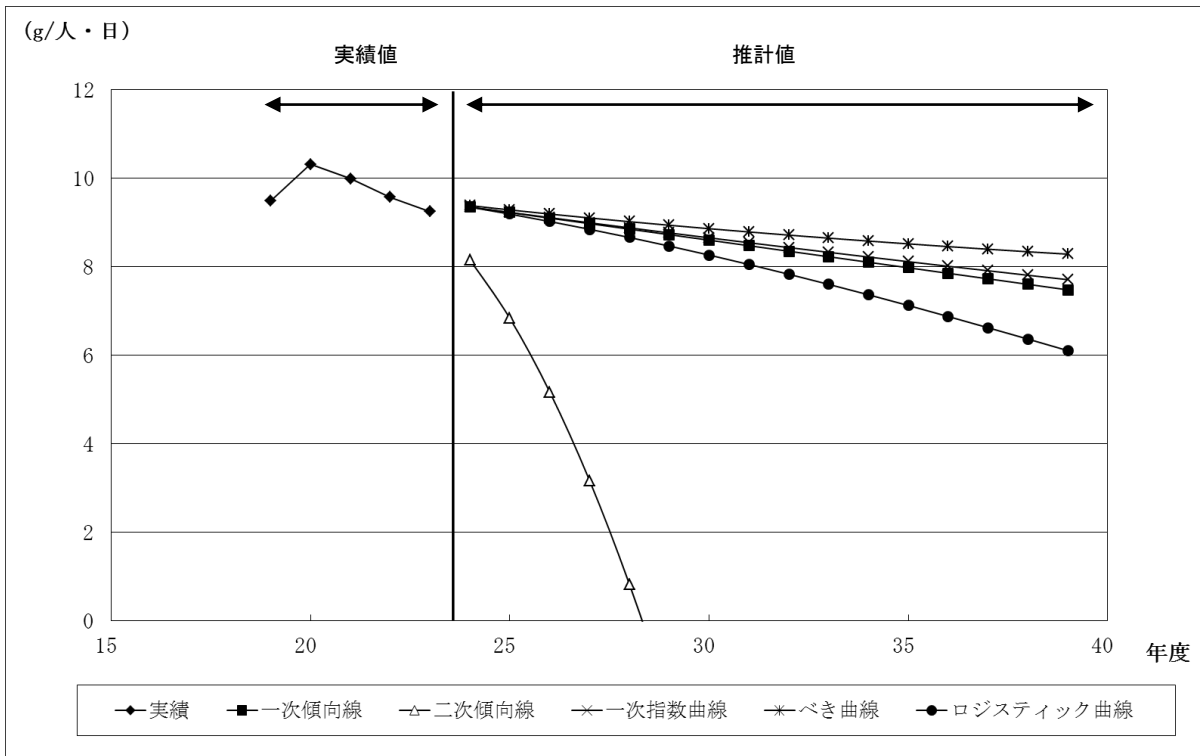


図 2-19 集団回収（ダンボール）排出量推計結果

c. 衣類

集団回収（衣類）の推計結果を表 2-24 及び図 2-20 に示します。

表 2-24 集団回収（衣類）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	衣類 集団回収量 (g/人・日)						
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	5年間 平均値
19	2.5						
20	2.7						
21	2.6						
22	2.4						
23	2.4						
24		2.4	2.2	2.4	2.4	2.4	2.5
25		2.4	1.9	2.4	2.4	2.4	2.5
26		2.3	1.5	2.3	2.3	2.3	2.5
27		2.3	1.1	2.3	2.3	2.2	2.5
28		2.2	0.6	2.3	2.3	2.2	2.5
29		2.2	0.0	2.2	2.3	2.1	2.5
30		2.2	-0.6	2.2	2.2	2.0	2.5
31		2.1	-1.3	2.2	2.2	2.0	2.5
32		2.1	-2.1	2.1	2.2	1.9	2.5
33		2.0	-2.9	2.1	2.2	1.8	2.5
34		2.0	-3.9	2.1	2.2	1.8	2.5
35		2.0	-4.8	2.0	2.1	1.7	2.5
36		1.9	-5.9	2.0	2.1	1.6	2.5
37		1.9	-7.0	2.0	2.1	1.5	2.5
38		1.9	-8.2	1.9	2.1	1.4	2.5
39		1.8	-9.5	1.9	2.1	1.4	2.5
相関係数		0.432	0.478	0.427	0.417	0.447	-
採用結果							○

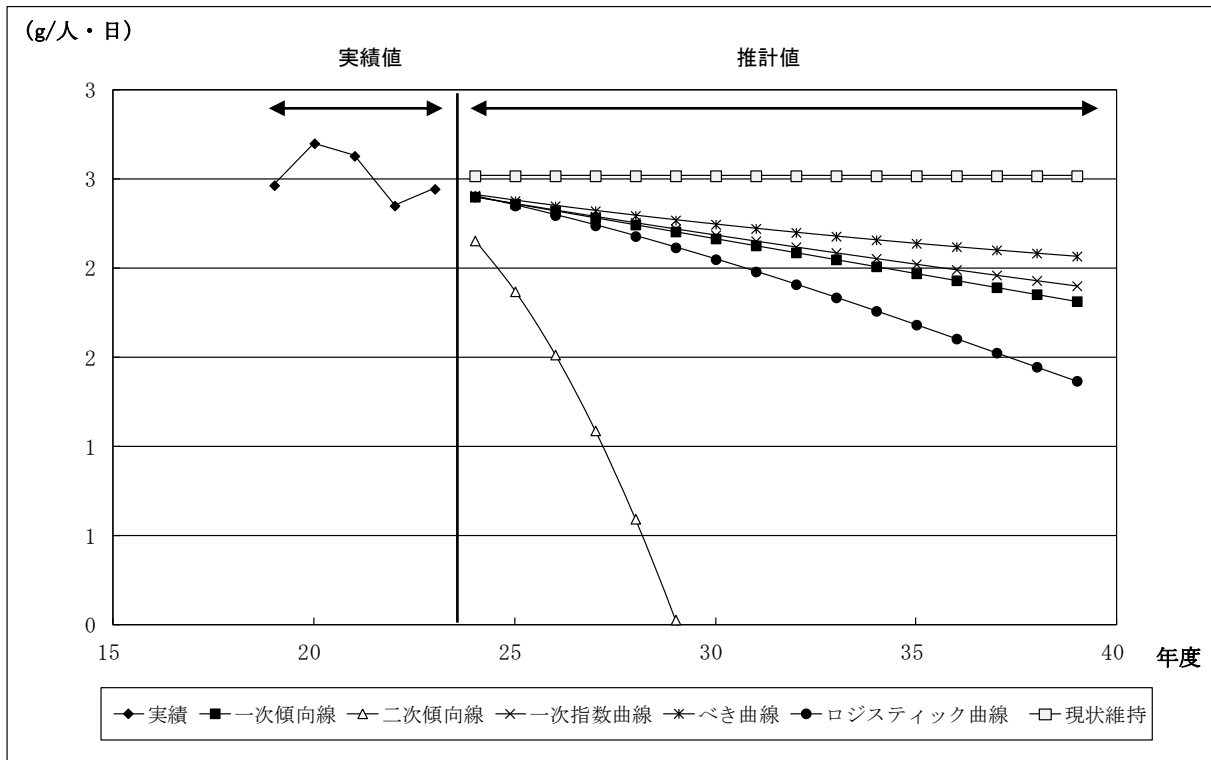


図 2-20 集団回収（衣類）排出量推計結果

d. アルミ缶

集団回収（アルミ缶）の推計結果を表 2-25 及び図 2-21 に示します。

表 2-25 集団回収（アルミ缶）排出量推計結果（単位：g/人・日）

年度	アルミ缶 集団回収量 (g/人・日)					
	実績	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線
19	3.0					
20	3.1					
21	2.8					
22	2.3					
23	2.1					
24		1.9	1.6	1.9	2.0	1.6
25		1.6	1.0	1.7	1.8	1.1
26		1.3	0.3	1.6	1.7	0.8
27		1.1	-0.4	1.4	1.5	0.5
28		0.8	-1.3	1.3	1.4	0.3
29		0.5	-2.2	1.2	1.3	0.2
30		0.3	-3.2	1.0	1.2	0.1
31		0.0	-4.3	0.9	1.1	0.1
32		-0.3	-5.5	0.9	1.1	0.0
33		-0.5	-6.8	0.8	1.0	0.0
34		-0.8	-8.2	0.7	0.9	0.0
35		-1.1	-9.6	0.6	0.9	0.0
36		-1.3	-11.2	0.6	0.8	0.0
37		-1.6	-12.8	0.5	0.8	0.0
38		-1.8	-14.5	0.5	0.7	0.0
39		-2.1	-16.3	0.4	0.7	0.0
相関係数		0.952	0.963	0.938	0.935	0.911
採用結果					○	

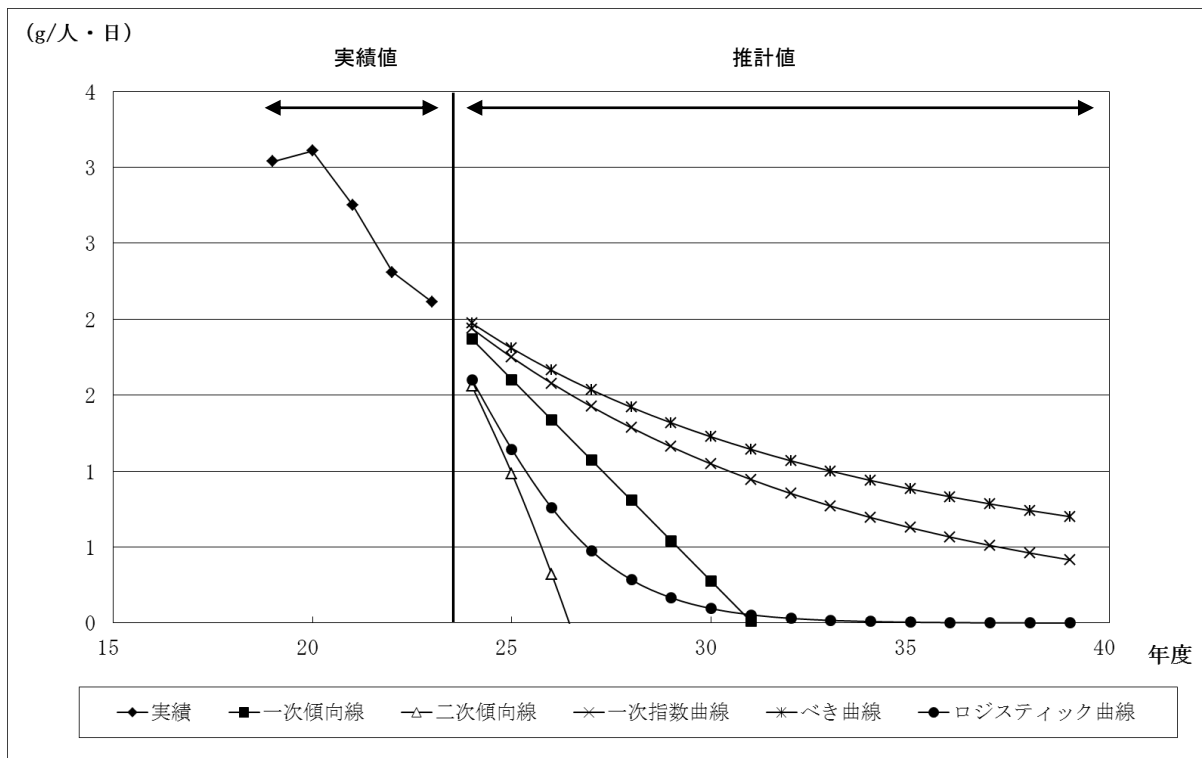


図 2-21 集団回収（アルミ缶）排出量推計結果

D. 推計結果まとめ

ごみ量の推計をまとめると表 2-26 のとおりになります。

表 2-26 推計結果まとめ

分別項目等	単位	実績値	推計値			
		平成23年度	平成24年度	平成29年度	平成34年度	平成39年度
人口	(人)	66,137	66,122	66,046	65,970	65,893
①生活系収集可燃ごみ	(t/年)	12,088	11,969	11,821	11,696	11,588
	(g/人・日)	500.7	495.9	490.4	485.7	481.8
②生活系収集不燃ごみ	(t/年)	319	300	198	139	103
	(g/人・日)	13.2	12.4	8.2	5.8	4.3
③生活系収集粗大ごみ	(t/年)	155	182	171	159	145
	(g/人・日)	6.4	7.6	7.1	6.6	6.0
④生活系直接搬入ごみ	(t/年)	87	87	87	87	87
⑤事業系ごみ	(t/年)	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226

分別項目等	単位	実績値	推計値				
		平成23年度	平成24年度	平成29年度	平成34年度	平成39年度	
人口	(人)	66,137	66,122	66,046	65,970	65,893	
⑥生活系収集資源ごみ	布類	(t/年)	75	75	75	75	75
		(g/人・日)	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
段ボール	(t/年)	300	300	300	300	299	
	(g/人・日)	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	
新聞	(t/年)	464	456	421	387	357	
	(g/人・日)	19.2	18.9	17.4	16.1	14.8	
雑誌	(t/年)	310	258	112	55	30	
	(g/人・日)	12.9	10.7	4.6	2.3	1.3	
ガラス類	(t/年)	386	372	322	285	257	
	(g/人・日)	16.0	15.4	13.4	11.8	10.7	
金属類	(t/年)	216	200	118	76	52	
	(g/人・日)	8.9	8.3	4.9	3.2	2.2	
プラ製容器	(t/年)	629	621	541	481	435	
	(g/人・日)	26.1	25.7	22.4	20.0	18.1	
ペットボトル	(t/年)	83	79	58	44	35	
	(g/人・日)	3.5	3.3	2.4	1.8	1.5	
リサイター	(t/年)	1	0	0	0	0	
	(g/人・日)	0.0	0	0	0	0	
有害ごみ	(t/年)	26	26	26	26	26	
	(g/人・日)	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
⑦集団回収	新聞紙	(t/年)	664	653	602	555	511
		(g/人・日)	27.5	27.1	25.0	23.0	21.2
	雑誌類	(t/年)	223	219	182	155	136
		(g/人・日)	9.2	9.1	7.5	6.4	5.6
	ダンボール	(t/年)	223	225	210	195	180
		(g/人・日)	9.2	9.3	8.7	8.1	7.5
	衣類	(t/年)	59	61	61	61	61
		(g/人・日)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5
	アルミ缶	(t/年)	51	48	32	23	17
		(g/人・日)	2.1	2.0	1.3	0.9	0.7

E. 現況推移ケースによる推計結果

新たな施策や分別区分の変更等を行わず、現状のまま推移した場合について、ごみ排出量の将来値の推計結果を表 2-27(1)～(2)に示します。

表 2-27 (1) ごみ排出量推移 (現況推移ケース)

区 分	単 位	計算式等	H. 23年度	H. 24年度	H. 25年度	H. 26年度	H. 27年度	H. 28年度	H. 29年度	H. 30年度	H. 31年度	H. 32年度	H. 33年度	H. 34年度	H. 35年度	H. 36年度	H. 37年度	H. 38年度	H. 39年度
(1) 収集人口	(人)	推計値 (総合計画を基に推計)	66,137	66,122	66,107	66,091	66,076	66,061	66,046	66,030	66,015	66,000	65,985	65,970	65,954	65,939	65,924	65,909	65,893
(2) 総排出量	(t/年)	(3) + (4)	21,586	21,363	21,171	20,998	20,841	20,698	20,566	20,444	20,330	20,224	20,124	20,029	19,940	19,855	19,774	19,697	19,622
	(g/人・日)	(2) / ((1) × 365) × 106	894.2	885.2	877.4	870.4	864.1	858.4	853.1	848.2	843.7	839.5	835.5	831.8	828.3	825.0	821.8	818.8	815.9
(3) 生活系ごみ合計	(t/年)	(3a)+(3b)+(3c)	16,360	16,137	15,945	15,772	15,615	15,472	15,340	15,218	15,104	14,998	14,898	14,803	14,714	14,629	14,548	14,471	14,396
	(g/人・日)	(3) / ((1) × 365) × 106	677.7	668.6	660.8	653.8	647.4	641.7	636.3	631.4	626.8	622.6	618.6	614.8	611.2	607.8	604.6	601.5	598.6
(3a) 収集ごみ	(t/年)	Σ(3a-1) ~ (3a-4)	15,053	14,844	14,678	14,530	14,397	14,277	14,167	14,066	13,972	13,885	13,804	13,728	13,657	13,589	13,525	13,464	13,406
	(t/年)	推計値 (べき曲線) + (3a-2-9)	12,088	11,973	11,942	11,911	11,881	11,853	11,825	11,799	11,773	11,748	11,724	11,700	11,677	11,655	11,633	11,612	11,592
(3a-2) 資源ごみ	(t/年)	Σ(3a-2-1) ~ (3a-2-10)	2,491	2,388	2,282	2,189	2,108	2,036	1,972	1,914	1,862	1,814	1,770	1,730	1,692	1,658	1,625	1,595	1,566
(3a-2-1) 布類	(t/年)	平成23年度実績値で推移	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
(3a-2-2) ダンボール	(t/年)	平成23年度実績値で推移	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	299	299	299	299
(3a-2-3) 新聞	(t/年)	新聞発行実績の増減率 (1.6%) で推移	464	456	449	442	434	427	421	414	407	400	394	387	381	375	369	363	357
(3a-2-4) 雑誌	(t/年)	推計値 (べき曲線)	310	258	216	181	154	131	112	96	83	73	63	55	49	43	38	34	30
(3a-2-5) ガラス類	(t/年)	推計値 (べき曲線)	386	372	360	350	340	331	322	314	306	299	292	285	279	273	267	262	257
(3a-2-6) 金属類	(t/年)	推計値 (べき曲線)	216	200	178	160	144	130	118	108	98	90	83	76	70	65	60	56	52
(3a-2-7) プラ製容器	(t/年)	推計値 (べき曲線)	629	621	603	586	570	555	541	527	515	503	492	481	471	461	452	443	435
(3a-2-8) ペットボトル	(t/年)	推計値 (べき曲線)	83	79	74	69	65	61	58	54	51	49	46	44	42	40	38	37	35
(3a-2-9) リサイター※	(t/年)	排出量0で推移	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3a-2-10) 有害ごみ	(t/年)	過去5年間の平均値で推移	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
(3a-3) 不燃ごみ	(t/年)	推計値 (現状維持)	319	300	274	252	231	214	198	183	171	159	149	139	131	123	115	109	103
(3a-3-1) 不燃ごみ	(t/年)	(3a-3) × 94.7%	303	284	260	238	219	202	187	174	162	151	141	132	124	116	109	103	97
(3a-3-2) 埋立ごみ	(t/年)	(3a-3) × 5.3%	16	16	15	13	12	11	10	10	9	8	8	7	7	7	6	6	5
(3a-4) 粗大ごみ	(t/年)	推計値 (ロジスティック曲線)	155	182	180	178	176	174	171	169	167	164	162	159	156	154	151	148	145
(3a-4-1) 可燃性粗大ごみ	(t/年)	(3a-4) × 72.0%	113	131	130	128	127	125	123	122	120	118	116	114	113	111	109	107	105
(3a-4-2) 不燃性粗大ごみ	(t/年)	(3a-4) × 28.0%	42	51	51	50	49	49	48	47	47	46	45	45	44	43	42	41	41
(3b) 直接搬入ごみ	(t/年)	推計値 (現状維持)	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87
(3b-1) 可燃ごみ	(t/年)	(3b) × 21.2%	16	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
(3b-2) 資源ごみ	(t/年)	(3b) × 12.3%	7	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
(3b-3) 不燃ごみ	(t/年)	(3b) × 2.2%	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
(3b-4) 粗大ごみ	(t/年)	Σ(3b-4-1) ~ (3b-4-2)	62	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56
(3b-4-1) 可燃性粗大ごみ	(t/年)	(3b) × 46.4%	45	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
(3b-4-2) 不燃性粗大ごみ	(t/年)	(3b) × 17.9%	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
(3c) 集団回収	(t/年)	Σ(3c-1) ~ (3c-5)	1,220	1,206	1,180	1,155	1,131	1,108	1,086	1,065	1,045	1,025	1,006	988	970	953	936	920	904
(3c-1) 新聞紙	(t/年)	新聞発行実績の増減率 (1.6%) で推移	664	653	643	632	622	612	602	592	583	573	564	555	546	537	528	520	511
(3c-2) 雑誌	(t/年)	推計値 (べき曲線)	223	219	210	202	195	188	182	176	170	165	160	155	151	147	143	139	136
(3c-3) ダンボール	(t/年)	推計値 (べき曲線)	223	225	222	219	216	213	210	207	204	201	198	195	192	189	186	183	180
(3c-4) 衣類	(t/年)	過去5年間の平均値で推移	59	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61
(3c-5) アルミ缶	(t/年)	推計値 (べき曲線)	51	48	44	40	37	34	32	30	28	26	24	23	21	20	19	18	17
(4) 事業系ごみ合計	(t/年)	(下記数値) × 365	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226
	(t/日)	推計値 (現状維持)	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	(g/人・日)	((上記数値) / (1)) × 10 ⁶	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5	216.5
(4a) 直接搬入ごみ	(t/年)	(4) × 100.0%	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226
	(t/年)	(4) × 100.0%	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226
(4a-1) 可燃ごみ	(t/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(4a-2) 資源ごみ	(t/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(4a-3) 不燃ごみ	(t/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(4a-4) 粗大ごみ	(t/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※リサイター：学校給食などの残飯を堆肥化する装置で平成23年8月に廃止されています。

(注) 各分別項目の詳細について、過去5年間 (H18~23年度) 実績の割合から算定しています。このため、小数点以下が隠れており、表中の数値の合計値と異なる場合があります。

表 2-27 (2) ごみ処理量推移 (現況推移ケース)

区 分	単 位	計算式等	H. 23年度	H. 24年度	H. 25年度	H. 26年度	H. 27年度	H. 28年度	H. 29年度	H. 30年度	H. 31年度	H. 32年度	H. 33年度	H. 34年度	H. 35年度	H. 36年度	H. 37年度	H. 38年度	H. 39年度	
処 理 内 訳	(5) 焼却処理量	(t/年)	(5a) + (5b)	17,488	17,390	17,356	17,324	17,293	17,263	17,234	17,205	17,178	17,151	17,125	17,100	17,075	17,050	17,027	17,004	16,981
	(5a) 可燃ごみ	(t/年)	(5a-1) + (5a-2)	17,330	17,218	17,186	17,155	17,126	17,097	17,070	17,043	17,017	16,992	16,968	16,945	16,922	16,900	16,878	16,857	16,836
	(5a-1) 生活系可燃ごみ	(t/年)	(3a-1) + (3b-1)	12,104	11,992	11,960	11,929	11,900	11,871	11,844	11,817	11,791	11,766	11,742	11,719	11,696	11,674	11,652	11,631	11,610
	(5a-2) 事業系可燃ごみ	(t/年)	(4a-1)	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226
	(5b) 可燃性粗大	(t/年)	(5b-1) + (5b-2)	158	172	170	169	167	165	164	162	160	159	157	155	153	151	149	147	145
	(5b-1) 生活系可燃性粗大	(t/年)	(3a-4-1) + (3b-4-1)	158	172	170	169	167	165	164	162	160	159	157	155	153	151	149	147	145
	(5b-2) 事業系可燃性粗大	(t/年)	(4a-4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(6) 焼却以外の中間処理量	(t/年)	(6a) + (6b) + (6c)	2,877	2,768	2,635	2,519	2,417	2,327	2,246	2,173	2,107	2,047	1,992	1,942	1,895	1,852	1,811	1,773	1,738
	(6a) 資源ごみ	(t/年)	(6a-1) + (6a-2)	2,498	2,399	2,293	2,200	2,119	2,047	1,983	1,925	1,873	1,825	1,781	1,741	1,703	1,668	1,636	1,605	1,577
	(6a-1) 生活系資源ごみ	(t/年)	(3a-2) + (3b-2)	2,498	2,399	2,293	2,200	2,119	2,047	1,983	1,925	1,873	1,825	1,781	1,741	1,703	1,668	1,636	1,605	1,577
	(6a-2) 事業系資源ごみ	(t/年)	(4a-2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(6b) 不燃ごみ	(t/年)	(6b-1) + (6b-2)	321	302	276	253	233	216	200	185	173	161	151	141	132	125	117	111	105
	(6b-1) 生活系不燃ごみ	(t/年)	(3a-3) + (3b-3)	321	302	276	253	233	216	200	185	173	161	151	141	132	125	117	111	105
	(6b-2) 事業系不燃ごみ	(t/年)	(4a-3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6c) 不燃性粗大ごみ	(t/年)	(6c-1) + (6c-2)	59	67	66	65	65	64	64	63	62	62	61	60	59	59	58	57	56	
(6c-1) 生活系不燃性粗大ごみ	(t/年)	(3a-4-2) + (3b-4-2)	59	67	66	65	65	64	64	63	62	62	61	60	59	59	58	57	56	
(6c-2) 事業系不燃性粗大ごみ	(t/年)	(4a-4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(7) 最終処分量	(t/年)	(7a) + (7b)	2,533	2,510	2,480	2,452	2,428	2,406	2,385	2,367	2,350	2,335	2,320	2,307	2,294	2,283	2,272	2,262	2,252	
(7a) 焼却灰	(t/年)	(5) × 平成23年度焼却残渣率	2,154	2,141	2,137	2,133	2,130	2,126	2,122	2,119	2,115	2,112	2,109	2,106	2,103	2,100	2,097	2,094	2,091	
(7b) 破碎くず等	(t/年)	(3a-3) + (3a-4-2) + (3b-3) + (3b-4-2)	380	369	342	319	298	280	263	248	235	223	211	201	192	183	175	168	161	
資 源 化 内 訳	(8) 資源化量	(t/年)	(8a) + (8b)	3,720	3,608	3,475	3,358	3,253	3,158	3,072	2,993	2,921	2,853	2,790	2,732	2,676	2,624	2,575	2,528	2,484
	(8a) クリーンセンター回収分	(t/年)	Σ (8a-1) ~ (8a-11)	2,498	2,399	2,293	2,200	2,119	2,047	1,983	1,925	1,873	1,825	1,781	1,741	1,703	1,668	1,636	1,605	1,577
	(8a-1) 布類	(t/年)	(3a-2-1)	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
	(8a-2) 段ボール	(t/年)	(3a-2-2)	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	299	299	299	299
	(8a-3) 新聞	(t/年)	(3a-2-3)	464	456	449	442	434	427	421	414	407	400	394	387	381	375	369	363	357
	(8a-4) 雑誌	(t/年)	(3a-2-4)	310	258	216	181	154	131	112	96	83	73	63	55	49	43	38	34	30
	(8a-5) ガラス類	(t/年)	(3a-2-5)	386	372	360	350	340	331	322	314	306	299	292	285	279	273	267	262	257
	(8a-6) 金属類	(t/年)	(3a-2-6)	216	200	178	160	144	130	118	108	98	90	83	76	70	65	60	56	52
	(8a-7) プラ製容器	(t/年)	(3a-2-7)	629	621	603	586	570	555	541	527	515	503	492	481	471	461	452	443	435
	(8a-8) ペットボトル	(t/年)	(3a-2-8)	83	79	74	69	65	61	58	54	51	49	46	44	42	40	38	37	35
	(8a-9) リサイター※	(t/年)	(3a-2-9)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(8a-10) 有害ごみ	(t/年)	(3a-2-10)	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
	(8a-11) 直接搬入資源 (分類不可)	(t/年)	(3b-2) + (4a-2)	7	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	(8b) 溶融スラグ	(t/年)	平成23年度実績を維持	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	(8c) 集団回収分	(t/年)	Σ (8b-1) ~ (8b-7)	1,220	1,206	1,180	1,155	1,131	1,108	1,086	1,065	1,045	1,025	1,006	988	970	953	936	920	904
	(8c-1) 新聞紙	(t/年)	(3c-1)	664	653	643	632	622	612	602	592	583	573	564	555	546	537	528	520	511
	(8c-2) 雑誌	(t/年)	(3c-2)	223	219	210	202	195	188	182	176	170	165	160	155	151	147	143	139	136
	(8c-3) ダンボール	(t/年)	(3c-3)	223	225	222	219	216	213	210	207	204	201	198	195	192	189	186	183	180
	(8c-4) 衣類	(t/年)	(3c-4)	59	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61
(8c-5) アルミ缶	(t/年)	(3c-5)	51	48	44	40	37	34	32	30	28	26	24	23	21	20	19	18	17	
(9) 資源化率	(%)	(8) / (2) × 100	17.2	16.9	16.4	16.0	15.6	15.3	14.9	14.6	14.4	14.1	13.9	13.6	13.4	13.2	13.0	12.8	12.7	

※(5)焼却処理量：処理した実績ではなく、単純に可燃ごみ及び可燃性粗大ごみの合計値を用います。

※(6)焼却以外の中間処理量：処理した実績ではなく、単純に資源ごみ、不燃ごみ、不燃性粗大ごみの合計値を用います。

(注) 表 2-27(1)の内、各分別項目の詳細について、過去 5 年間 (H18~23 年度) 実績の割合から算定しています。このため、小数点以下が隠れており、表 2-27(1)中の数値の合計値と表 2-28(2)の数値が異なる場合があります。

3 目標達成ケース

前項「2 現況推移ケース」のごみ排出量及び処理量に対して、今後新たに施策などを実施することでごみの減量・資源化を推進した場合の推計結果「目標達成ケース」を以降に示します。

(1) 発生・排出抑制施策による削減量

発生・排出抑制施策により、表 2-28 のとおり削減を目指します。

表 2-28 発生・排出抑制施策による削減量

発生・排出抑制施策			削減対象	削減量 (t)										備考	
				H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		H34年度
市民の役割	施策①	生ごみたい肥化の推進	生活系可燃	0	24	48	71	95	118	142	165	188	211	234	目標年度H34に0.2割の削減
	施策②	生ごみの水分ひとしぼり運動の実施	生活系可燃	0	24	48	71	95	118	142	165	188	211	234	目標年度H34に0.2割の削減
	施策③	過剰包装の購入自粛	生活系可燃	0	7	13	20	26	33	40	46	53	59	66	毎年10g/人の削減
	施策④	マイバック持参運動の実施	生活系可燃	0	7	13	20	26	33	40	46	53	59	66	毎年10g/人の削減
	施策⑤	市民委員会等による啓発活動の実施	ごみ総排出量※	0	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	毎年50 t の削減
	施策⑥	リユースによる発生抑制	ごみ総排出量※	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	毎年10 t の削減
事業者の役割	施策⑦	過剰包装商品の販売抑制	プラスチック製容器包装	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定
	施策⑧	レジ袋有料化の実施	生活系可燃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定
行政の役割	施策⑨	広報等による発生抑制・再使用の啓発	ごみ総排出量※	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	毎年10 t の削減
	施策⑩	見学会・講習会等の環境教育の推進	ごみ総排出量※	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	毎年10 t の削減
	施策⑪	ごみ処理に係る情報の提供	ごみ総排出量※	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	毎年10 t の削減
	施策⑫	生ごみたい肥化の普及啓発	生活系可燃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	施策①による削減と同じ
	施策⑬	フリーマーケット等の開催支援	ごみ総排出量※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	施策⑥による削減と同じ
	施策⑭	ローディネーターとしての役割	ごみ総排出量※	0	7	13	20	26	33	40	46	53	59	66	毎年10g/人の削減
	施策⑮	行政の率先垂範	ごみ総排出量※	0	7	13	20	26	33	40	46	53	59	66	毎年10g/人の削減
施策⑯	拡大生産者責任の確立	ごみ総排出量※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定	
削減量合計				0	164	328	492	656	819	982	1,145	1,308	1,470	1,633	
人口 (人)				66,122	66,107	66,091	66,076	66,061	66,046	66,030	66,015	66,000	65,985	65,970	推計値

※ごみ総排出量は資源ごみ・集団回収量を除くもの(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ)とします。

(2) 分別・資源化施策による資源化移行量

分別・資源化施策により、表 2-29 のとおり生活系及び事業系可燃ごみから資源化への移行を目指します。

表 2-29 分別・資源化施策による資源化移行量

分別・資源化施策			資源化対象	資源化量 (t)										備考	
				H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		H34年度
市民の役割	施策①	ごみステーションの管理と分別排出	生活系資源	0	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	毎年20 t の増加(生活系可燃から)
	施策②	集団回収の普及促進	集団回収	0	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	毎年20 t の増加(生活系可燃から)
	施策③	プラスチック製容器包装の分別方法の周知	プラスチック製容器包装	0	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	毎年20 t の増加(生活系可燃から)
事業者の役割	施策④	資源ごみの分別排出	生活系資源	0	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	毎年20 t の増加(事業系可燃から)
	施策⑤	適正処理困難物の対応	処理しないごみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	業者への引渡し・資源化
	施策⑥	リサイクル関連法への対応	処理しないごみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	業者への引渡し・資源化
行政の役割	施策⑦	資源分別の普及促進	生活系資源	0	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	毎年20 t の増加(生活系可燃から)
	施策⑧	集団回収の普及促進助成金制度の実施	集団回収	0	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	毎年20 t の増加(生活系可燃から)
	施策⑨	常設のリサイクルステーションの設置検討	家庭系資源(直接搬入)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定
	施策⑩	廃食用油のBDF	廃食用油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定
	施策⑪	刈草・せん定枝の資源化等の検討	刈草・せん定枝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定
資源化移行量合計				0	120	240	360	480	600	720	840	960	1,080	1,200	

(3) 目標達成ケースによる推計結果

(1) 及び(2)の施策により削減量・資源化移行量を排出量に反映すると表2-30のとおりとなります。

表2-30 削減量・資源化移行量による排出量の変化

単位：t

項目		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	
削減量	ごみ総排出量※1	排出量	17,758	17,698	17,643	17,591	17,543	17,497	17,454	17,413	17,374	17,336	17,301
		削減量	0	103	206	310	413	516	619	722	826	929	1,032
		削減後排出量	17,758	17,595	17,437	17,281	17,130	16,981	16,834	16,690	16,548	16,407	16,269
	可燃ごみ	排出量	17,218	17,186	17,155	17,126	17,097	17,070	17,043	17,017	16,992	16,968	16,945
		削減量	0	100	201	301	402	503	605	706	808	909	1,011
		削減後排出量	17,218	17,086	16,955	16,824	16,695	16,566	16,438	16,311	16,185	16,059	15,934
	(内生活系可燃ごみ)	排出量	11,992	11,960	11,929	11,900	11,871	11,844	11,817	11,791	11,766	11,742	11,719
		削減量	0	70	140	209	279	349	419	489	559	629	699
		削減後排出量	11,992	11,890	11,790	11,690	11,592	11,494	11,398	11,302	11,207	11,113	11,020
	(内事業系可燃ごみ)	排出量	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226	5,226
		削減量	0	30	61	92	123	154	185	217	248	280	312
		削減後排出量	5,226	5,196	5,165	5,134	5,103	5,072	5,041	5,009	4,978	4,946	4,914
	不燃ごみ	排出量	302	276	253	233	216	200	185	173	161	151	141
		削減量	0	2	3	4	5	6	7	7	8	8	8
		削減後排出量	302	275	251	229	210	194	179	165	153	143	133
	粗大ごみ	排出量	238	236	234	232	230	227	225	223	220	217	215
		削減量	0	1	3	4	5	7	8	9	10	12	13
		削減後排出量	238	235	231	228	224	221	217	213	210	206	202
	(内可燃性粗大)	排出量	172	170	169	167	165	164	162	160	159	157	155
		削減量	0	1	2	3	4	5	6	7	8	8	9
		削減後排出量	172	169	167	164	162	159	156	154	151	148	146
(内不燃性粗大)	排出量	67	66	65	65	64	64	63	62	62	61	60	
	削減量	0	0	1	1	2	2	2	3	3	3	4	
	削減後排出量	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	56	
生活系可燃ごみ※2	排出量	11,992	11,890	11,790	11,690	11,592	11,494	11,398	11,302	11,207	11,113	11,020	
	削減量	0	161	322	482	643	803	963	1,123	1,282	1,442	1,601	
	削減後排出量	11,992	11,729	11,468	11,208	10,949	10,692	10,435	10,180	9,925	9,671	9,419	
事業系可燃ごみ※2	排出量	5,226	5,196	5,165	5,134	5,103	5,072	5,041	5,009	4,978	4,946	4,914	
	削減量	0	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	
	削減後排出量	5,226	5,176	5,125	5,074	5,023	4,972	4,921	4,869	4,818	4,766	4,714	
資源化移行量	生活系資源ごみ	排出量	2,399	2,293	2,200	2,119	2,047	1,983	1,925	1,873	1,825	1,781	1,741
		資源化移行量	0	60	120	180	240	300	360	420	480	540	600
		資源化移行後排出量	2,399	2,353	2,320	2,299	2,287	2,283	2,285	2,293	2,305	2,321	2,341
	(内プラスチック製容器包装)	排出量	621	603	586	570	555	541	527	515	503	492	481
		資源化移行量	0	16	32	48	65	82	99	115	132	149	166
		資源化移行後排出量	621	619	618	618	620	622	626	630	635	641	647
	プラスチック製容器包装※2	排出量	621	619	618	618	620	622	626	630	635	641	647
		資源化移行量	0	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200
		資源化移行後排出量	621	639	658	678	700	722	746	770	795	821	847
	集団回収	排出量	1,206	1,180	1,155	1,131	1,108	1,086	1,065	1,045	1,025	1,006	988
		資源化移行量	0	40	80	120	160	200	240	280	320	360	400
		資源化移行後排出量	1,206	1,220	1,235	1,251	1,268	1,286	1,305	1,325	1,345	1,366	1,388

※1 ごみ総排出量は資源ごみ・集団回収量を除くもの(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ)とします。
 ※2 生活系可燃ごみ、事業系可燃ごみの排出量は、ごみ総排出量の削減量を含んだ後の排出量とします。
 ※3 プラスチック製容器包装の排出量は、生活系資源ごみの資源化移行量を含んだ後の排出量とします。

新たな施策等により目標を達成した場合について、ごみ排出量の将来値の推計結果を表2-31(1)～(2)に示します。

表 2-31 (1) ごみ排出量推移 (目標達成ケース)

区 分	単 位	計算式等	H. 23年度	H. 24年度	H. 25年度	H. 26年度	H. 27年度	H. 28年度	H. 29年度	H. 30年度	H. 31年度	H. 32年度	H. 33年度	H. 34年度
(1) 収集人口	(人)	推計値 (総合計画を基に推計)	66,137	66,122	66,107	66,091	66,076	66,061	66,046	66,030	66,015	66,000	65,985	65,970
(2) 総排出量	(t/年)	(3) + (4)	21,586	21,363	21,007	20,670	20,349	20,042	19,747	19,462	19,185	18,916	18,653	18,396
	(g/人・日)	(2) / ((1) × 365) × 10 ⁶	894.2	885.2	870.6	856.8	843.7	831.2	819.1	807.5	796.2	785.2	774.5	764.0
(3) 生活系ごみ合計	(t/年)	(3a)+(3b)+(3c)	16,360	16,137	15,831	15,545	15,275	15,019	14,775	14,541	14,316	14,098	13,887	13,682
	(g/人・日)	(3) / ((1) × 365) × 10 ⁶	677.7	668.6	656.1	644.4	633.3	622.9	612.9	603.3	594.1	585.2	576.6	568.2
(3a) 収集ごみ	(t/年)	Σ (3a-1) ~ (3a-4)	15,053	14,844	14,525	14,224	13,938	13,665	13,404	13,151	12,906	12,669	12,437	12,211
(3a-1) 可燃ごみ	(t/年)	現況推移ケースより按分	12,088	11,973	11,711	11,450	11,190	10,932	10,675	10,419	10,164	9,909	9,656	9,404
(3a-2) 資源ごみ	(t/年)	Σ (8a-1) ~ (8a-10)	2,491	2,388	2,362	2,349	2,347	2,355	2,371	2,392	2,420	2,451	2,487	2,526
(3a-2-1) 布類	(t/年)	(8a-1)	75	75	77	79	82	84	86	89	92	95	98	101
(3a-2-2) ダンボール	(t/年)	(8a-2)	300	300	308	317	326	335	345	356	367	379	391	403
(3a-2-3) 新聞	(t/年)	(8a-3)	464	456	461	466	471	478	484	491	498	506	513	521
(3a-2-4) 雑誌	(t/年)	(8a-4)	310	258	221	191	167	146	129	114	102	92	83	75
(3a-2-5) ガラス類	(t/年)	(8a-5)	386	372	370	369	369	369	371	372	374	377	380	383
(3a-2-6) 金属類	(t/年)	(8a-6)	216	200	183	169	156	146	136	128	120	114	108	102
(3a-2-7) プラ製容器	(t/年)	(8a-7)	629	621	639	658	678	700	722	746	770	795	821	847
(3a-2-8) ペットボトル	(t/年)	(8a-8)	83	79	76	73	70	68	66	65	63	62	60	59
(3a-2-9) リサイター※	(t/年)	(8a-9)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3a-2-10) 有害ごみ	(t/年)	(8a-10)	26	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	35
(3a-3) 不燃ごみ	(t/年)	現況推移ケースより按分	319	300	273	249	227	209	192	177	164	152	141	131
(3a-3-1) 不燃ごみ	(t/年)	(3a-3) × 94.7%	303	284	258	235	215	198	182	168	155	144	133	124
(3a-3-2) 埋立ごみ	(t/年)	(3a-3) × 5.3%	16	16	14	13	12	11	10	9	9	8	7	7
(3a-4) 粗大ごみ	(t/年)	Σ (3a-4-1) ~ (3a-4-2)	155	182	179	176	173	170	166	163	160	156	153	149
(3a-4-1) 可燃性粗大ごみ	(t/年)	現況推移ケースより按分	113	131	129	127	125	122	120	117	115	113	110	108
(3a-4-2) 不燃性粗大ごみ	(t/年)	現況推移ケースより按分	42	51	50	49	48	48	47	46	45	44	43	42
(3b) 直接搬入ごみ	(t/年)	Σ (3b-1) ~ (3b-4)	87	87	87	86	86	85	85	85	84	84	84	84
(3b-1) 可燃ごみ	(t/年)	現況推移ケースより按分	16	18	18	18	17	17	17	16	16	16	15	15
(3b-2) 資源ごみ	(t/年)	(8a-11)	7	11	11	11	12	12	12	13	13	14	14	14
(3b-3) 不燃ごみ	(t/年)	現況推移ケースより按分	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
(3b-4) 粗大ごみ	(t/年)	Σ (3b-4-1) ~ (3b-4-2)	62	56	56	55	55	55	54	54	54	53	53	53
(3b-4-1) 可燃性粗大ごみ	(t/年)	現況推移ケースより按分	45	40	40	40	40	39	39	39	39	38	38	38
(3b-4-2) 不燃性粗大ごみ	(t/年)	現況推移ケースより按分	17	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
(3c) 集団回収	(t/年)	Σ (3c-1) ~ (3c-5)	1,220	1,206	1,220	1,235	1,251	1,268	1,286	1,305	1,325	1,345	1,366	1,388
(3c-1) 新聞紙	(t/年)	(8c-1)	664	653	664	676	688	700	713	726	739	752	765	779
(3c-2) 雑誌	(t/年)	(8c-2)	223	219	217	216	216	215	215	215	216	216	217	218
(3c-3) ダンボール	(t/年)	(8c-3)	223	225	230	235	239	244	249	254	259	264	269	274
(3c-4) 衣類	(t/年)	(8c-4)	59	61	63	65	67	69	72	74	77	80	82	85
(3c-5) アルミ缶	(t/年)	(8c-5)	51	48	45	43	41	39	38	36	35	34	33	32
(4) 事業系ごみ合計	(t/年)	(4a)	5,226	5,226	5,176	5,125	5,074	5,023	4,972	4,921	4,869	4,818	4,766	4,714
	(t/日)	((4a) / 365)	14.3	14.3	14.2	14.0	13.9	13.8	13.6	13.5	13.3	13.2	13.1	12.9
	(g/人・日)	((上記数値) / (1)) × 10 ⁶	216.5	216.5	214.5	212.4	210.4	208.3	206.2	204.2	202.1	200.0	197.9	195.8
(4a) 直接搬入ごみ	(t/年)	Σ (4a-1) ~ (4a-4)	5,226	5,226	5,176	5,125	5,074	5,023	4,972	4,921	4,869	4,818	4,766	4,714
(4a-1) 可燃ごみ	(t/年)	(5a-2)	5,226	5,226	5,176	5,125	5,074	5,023	4,972	4,921	4,869	4,818	4,766	4,714
(4a-2) 資源ごみ	(t/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(4a-3) 不燃ごみ	(t/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(4a-4) 粗大ごみ	(t/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※リサイター：学校給食などの残飯を堆肥化する装置で平成 23 年 8 月に廃止されています。

(注) 各分別項目の詳細について、表 2-27(1) 現況推移ケース (H24~34 年度) の割合から算定している項目があります。このため、小数点以下が隠れており、表中の数値の合計値と異なる場合があります。

表 2-31 (2) ごみ処理量推移 (目標達成ケース)

区 分	単 位	計 算 式 等	H. 23年度	H. 24年度	H. 25年度	H. 26年度	H. 27年度	H. 28年度	H. 29年度	H. 30年度	H. 31年度	H. 32年度	H. 33年度	H. 34年度
処 理 内 訳	(5) 焼却処理量	(5a) + (5b)	17,488	17,390	17,074	16,759	16,446	16,134	15,822	15,512	15,202	14,894	14,586	14,279
	(5a) 可燃ごみ	(5a-1) + (5a-2)	17,330	17,218	16,905	16,593	16,282	15,972	15,663	15,356	15,049	14,743	14,437	14,133
	(5a-1) 生活系可燃ごみ	削減後排出量	12,104	11,992	11,729	11,468	11,208	10,949	10,692	10,435	10,180	9,925	9,671	9,419
	(5a-2) 事業系可燃ごみ	削減後排出量	5,226	5,226	5,176	5,125	5,074	5,023	4,972	4,921	4,869	4,818	4,766	4,714
	(5b) 可燃性粗大	削減後排出量	158	172	169	167	164	162	159	156	154	151	148	146
	(5b-1) 生活系可燃性粗大	現況推移ケースより按分	158	172	169	167	164	162	159	156	154	151	148	146
	(5b-2) 事業系可燃性粗大	現況推移ケースより按分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(6) 焼却以外の中間処理量	(6a) + (6b) + (6c)	2,877	2,768	2,713	2,675	2,652	2,640	2,638	2,644	2,658	2,677	2,701	2,730
	(6a) 資源ごみ	(6a-1) + (6a-2)	2,498	2,399	2,373	2,360	2,359	2,367	2,383	2,405	2,433	2,465	2,501	2,541
	(6a-1) 生活系資源ごみ	(3a-2) + (3b-2)	2,498	2,399	2,373	2,360	2,359	2,367	2,383	2,405	2,433	2,465	2,501	2,541
	(6a-2) 事業系資源ごみ	(4a-2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(6b) 不燃ごみ	削減後排出量	321	302	275	251	229	210	194	179	165	153	143	133
	(6b-1) 生活系不燃ごみ	現況推移ケースより按分	321	302	275	251	229	210	194	179	165	153	143	133
	(6b-2) 事業系不燃ごみ	現況推移ケースより按分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(6c) 不燃性粗大ごみ	削減後排出量	59	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	56
(6c-1) 生活系不燃性粗大ごみ	現況推移ケースより按分	59	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	56	
(6c-2) 事業系不燃性粗大ごみ	現況推移ケースより按分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(7) 最終処分量	(7a) 焼却灰	(7a) + (7b)	2,533	2,510	2,443	2,379	2,318	2,260	2,204	2,150	2,097	2,046	1,996	1,948
	(7a) 焼却灰	(5) × 平成23年度焼却残渣率	2,154	2,141	2,103	2,064	2,025	1,987	1,948	1,910	1,872	1,834	1,796	1,758
	(7b) 破碎くず等	(3a-3) + (3a-4-2) + (3b-3) + (3b-4-2)	380	369	340	315	293	273	255	239	225	212	200	189
資 源 化 内 訳	(8) 資源化量	(8a) + (8b) + (8c)	3,720	3,608	3,595	3,598	3,613	3,638	3,672	3,713	3,761	3,813	3,870	3,932
	(8a) クリーンセンター回収分	資源化移行後排出量 + (8a-7)資源化移行後排出量	2,498	2,399	2,373	2,360	2,359	2,367	2,383	2,405	2,433	2,465	2,501	2,541
	(8a-1) 布類	現況推移ケースより按分	75	75	77	79	82	84	86	89	92	95	98	101
	(8a-2) 段ボール	現況推移ケースより按分	300	300	308	317	326	335	345	356	367	379	391	403
	(8a-3) 新聞	現況推移ケースより按分	464	456	461	466	471	478	484	491	498	506	513	521
	(8a-4) 雑誌	現況推移ケースより按分	310	258	221	191	167	146	129	114	102	92	83	75
	(8a-5) ガラス類	現況推移ケースより按分	386	372	370	369	369	369	371	372	374	377	380	383
	(8a-6) 金属類	現況推移ケースより按分	216	200	183	169	156	146	136	128	120	114	108	102
	(8a-7) プラ製容器	資源化移行後排出量	629	621	639	658	678	700	722	746	770	795	821	847
	(8a-8) ペットボトル	現況推移ケースより按分	83	79	76	73	70	68	66	65	63	62	60	59
	(8a-9) リサイター※	現況推移ケースより按分	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(8a-10) 有害ごみ	現況推移ケースより按分	26	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	35
	(8a-11) 直接搬入資源 (分類不可)	現況推移ケースより按分	7	11	11	11	12	12	12	13	13	14	14	14
	(8b) 溶融スラグ	現況推移ケースと同値	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	(8c) 集団回収分	資源化移行後排出量	1,220	1,206	1,220	1,235	1,251	1,268	1,286	1,305	1,325	1,345	1,366	1,388
(8c-1) 新聞紙	現況推移ケースより按分	664	653	664	676	688	700	713	726	739	752	765	779	
(8c-2) 雑誌	現況推移ケースより按分	223	219	217	216	216	215	215	215	216	216	217	218	
(8c-3) ダンボール	現況推移ケースより按分	223	225	230	235	239	244	249	254	259	264	269	274	
(8c-4) 衣類	現況推移ケースより按分	59	61	63	65	67	69	72	74	77	80	82	85	
(8c-5) アルミ缶	現況推移ケースより按分	51	48	45	43	41	39	38	36	35	34	33	32	
(9) 資源化率	(%)	(8)/(2) × 100	17.2	16.9	17.1	17.4	17.8	18.2	18.6	19.1	19.6	20.2	20.7	21.4

※(5) 焼却処理量：処理した実績ではなく、単純に可燃ごみ及び可燃性粗大ごみの合計値を用います。

※(6) 焼却以外の中間処理量：処理した実績ではなく、単純に資源ごみ、不燃ごみ、不燃性粗大ごみの合計値を用います。

(注) 各分別項目の詳細について、表 2-27(2) 現況推移ケース (H24~34年度) の割合から算定している項目があります。このため、小数点以下が隠れており、表中の数値の合計値と異なる場合があります。